SHARP

DVDプレーヤー

形名 DV-SF1（ディーブイ エスエフ）

取扱説明書

12cm ディスク専用機

DVD VIDEO　COMPACT disc DIGITAL VIDEO　DOLBY DIGITAL　dts DIGITAL OUT　FUJICOLOR CD COMPATIBLE

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。[➡ 4ページ]
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに

接続のしかた

再生のしかた

いろいろな再生

再生中の切り換え

ページ

MP3/JPEG

再生中の情報を見る（画面表示）

初期設定（セットアップ）

故障かな？と思ったときは

そ　の　他

安全にお使いいただくために

ご使用の前に「**安全にお使いいただくために**」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

⚠警告

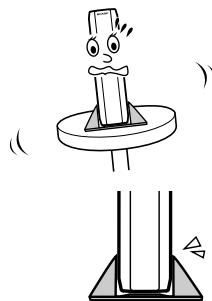
■ 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

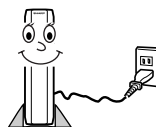
■ 不安定な場所に置かない

- 本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。
- 縦に置いた状態で使用するときは、必ず専用のスタンドにのせて使用してください。

禁 止

■ 表示された電源電圧で使用する

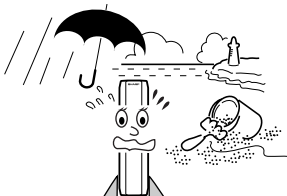
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外で使用すると火災・感電の原因となります。

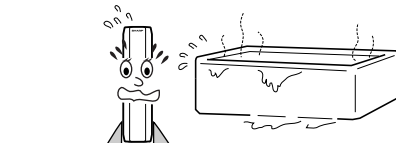
100V使用

⚠警告

■ 本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

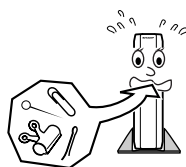
- こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

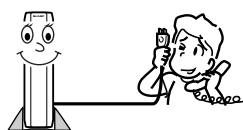
水ぬれ禁止

- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

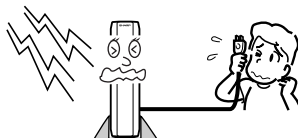
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

■ 内部に物や水などを入れない

- 本機の開口部（通風孔、ディスクスロットなど）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁 止

- 異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

- 感電の原因となります。

接 触 禁 止

■ 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

- そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

安全にお使いいただくために

⚠警告

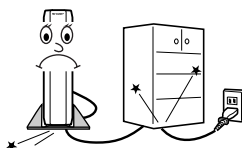
■ 電源コードを破損するようなことはしない

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

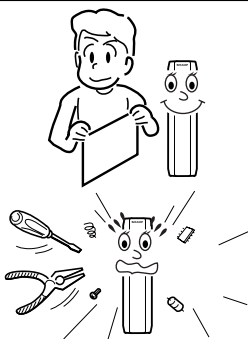
禁止

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

■ キャビネットは絶対に開けない

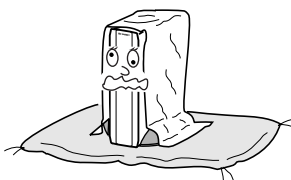
- 感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

分解禁止

禁止

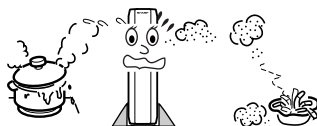
⚠注意

■ 熱がこもるようなところに置かない

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

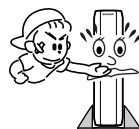
- 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

禁止

■ 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

⚠注意

■ ディスクスロットに手を入れない

- 小さなお子様がディスクスロットに、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

指のケガに注意

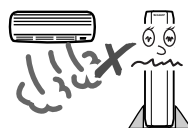
■ 移動させるときはディスクを取出し、必ず接続コードを外す

- 移動させる場合はディスクが入っていないことを確認のうえ電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認のうえ、行ってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

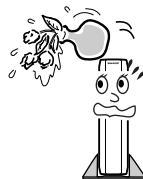
禁 止

■ 冷気が直接吹きつけるところや極端に寒いところには置かない

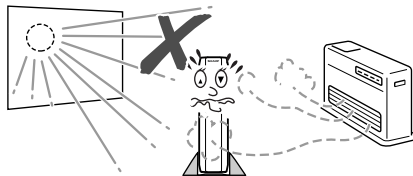
- つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

注 意

■ 重いものを置かない

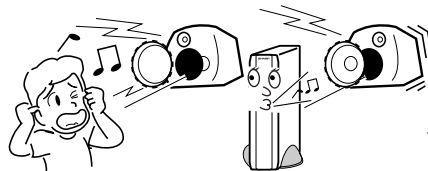
- この機器に乗らないでください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁 止

禁 止

■ 直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

- 内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

禁 止

■ 本体をテレビやオーディオ機器と接続したときは電源を入れる前にテレビやアンプの音量を最小にする

- 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

安全にお使いいただくために

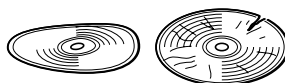
⚠注意

■ ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

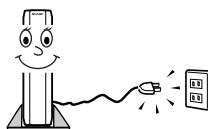
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

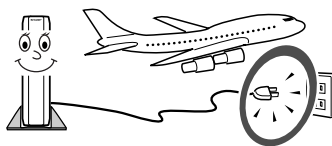
■ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

- 飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

■ お手入れのときは電源プラグを抜く

- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■ 旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

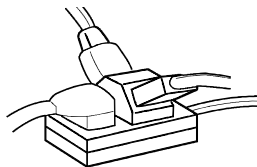
- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■ 3年に1度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

- 本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

注意

■ タコ足配線をしない

- 感電・火災の原因となることがあります。

禁止

■ 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

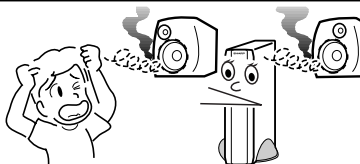
⚠注意

■ テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜く

- 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■ 長時間、音が歪んだ状態で使わない

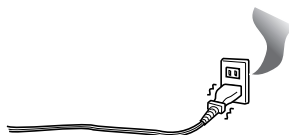
- スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

■ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- 刃にふれると感電の原因となることがあります。

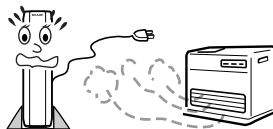
確実に差し込む

■ 電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

■ 電源コードを熱器具に近づけない

- コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

安全にお使いいただくために

⚠注意

電池についての安全上のご注意

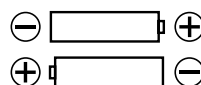
液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守り下さい。

■ **電池は幼児の手の届く所に置かない**

- 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

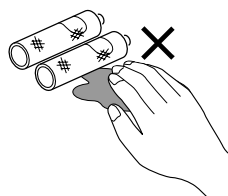
禁 止

■ **電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる**

- 間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

表示どおりにいれる

■ **電池の液が漏れたときは素手でさわらない**

- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

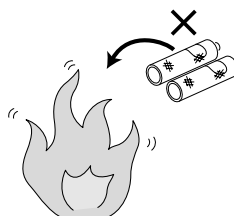
禁 止

■ **指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池をまぜて使わない**

- 電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁 止

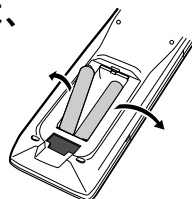
■ **電池は火や水の中に投入したり、過熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない**

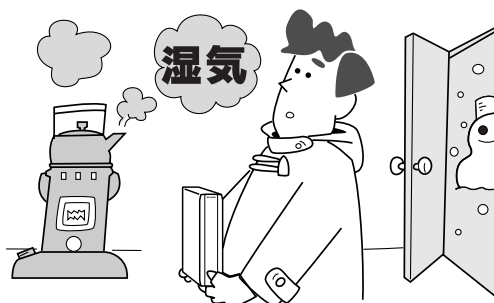
- 電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

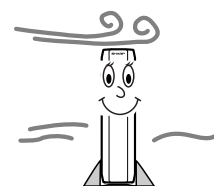
禁 止

■ **電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す**

- 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ故障、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

使用上のお願い

結露（つゆつき）について

■ **結露ってどうなるの？**
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。
これを**結露（つゆつき）**と呼びます。
本機を
● 寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき。
● 暖房を始めたばかりの部屋で操作するとき。
● 湿気の多いところで使うとき。
● エアコンのそばなど、直接冷風の当たる場所で使うとき。
など、内部で**結露**が起こったり、内部のレンズにつゆ（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。

■ **よく乾燥させてからお使いください。**
このようなときは、**電源ボタン**を**「入」**にしたまま**しばらく乾燥のため放置して**、湿気がなくなるまで操作しないでください。乾燥すると正常に動作するようになります。

■ **結露が起こりそうなときは、よく乾燥させてからお使いください。**
本機を移動させたあとなどはすぐに使用せず、**電源ボタン**を**「入」**にしたまましばらくは乾燥のため放置して、湿気がなくなるまで操作しないでください。

ディスクの取り扱い

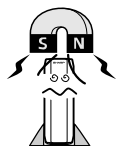
■ 再生面（虹色に光っている面）に触れないように持ちます。

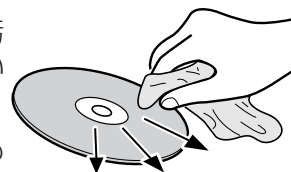
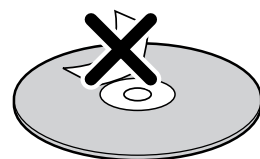
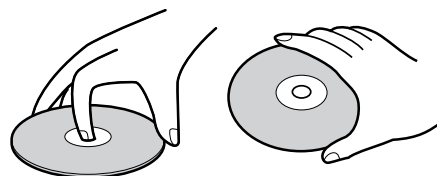
■ 紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。

■ 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)

■ 使用後は、**所定のケースに入れ、立てて置いてください。**
ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。

■ 指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。

■ お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。

■ ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

■ 再生可能なディスクについては14ページを参照してください。

使用上のお願い

本機の置き場所や取り扱い

■ **高温状態を避けてください。**
窓を閉めきった自動車の中など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

■ **砂に注意しましょう。**
砂浜や砂ぼこりの多いところで使用する場合は、砂などが内部にはいらないようにしてください。

■ 携帯電話、トランシーバーなどの強い電波を発生するモノの近くに置かないでください。電波の影響で本機が動かなくなります。

■ テレビの近くに置くと、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。このような場合は、テレビから離してください。

■ ご使用にならないときは、必ず**停止ボタン**を押してからディスクを取出し、電源を切ってください。

■ 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて作動させてください。

■ **国外では使えません。**
本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This DVD player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

リモコンの取り扱い

■ **乾電池の交換時期**
リモコンで操作できる距離が短くなってきた場合は、乾電池が消耗しています。
すべて同時に新品に交換し、新旧をまぜて使用することは避けてください。
付属の乾電池は動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。

■ **リモコン保管時のご注意**
長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り外してから保管してください。

本機やリモコンのお手入れ

■ **ベンジン、シンナーなどでふかないでください。**
キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。アルコール/ベンジン/シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書にしたがってください。

■ キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

レーザーピックアップについて

■ この取扱説明書の該当部分と、**「故障かな？と思ったときは」**をよくお読みになり、操作を行っても正常に動作しない場合は、**レーザーピックアップが汚れている**可能性があります。点検・清掃については、お買い上げの**販売店**にご相談ください。

修理について

■ 本機が動作しなくなった場合は、**ご自分で分解や修理をしないでください。**
電源プラグを抜き、お買い上げの**販売店**にご相談ください。

リサイクルについて

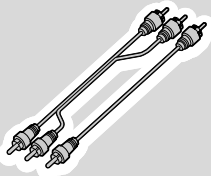
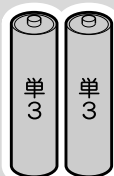
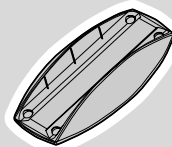
本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。
お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。
乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制にしたがって処分してください。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の登録商標です。

本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

本機のプログレッシブ出力（525p/480p）は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては本機プログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪い影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、映像設定で[プログレッシブ]を[オフ]にし、本体前面のプログレッシブランプが消灯していることを確認してください。

付属品（必ずお確かめください）

この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVDビデオディスク（DVD-RW/-R/+RW/+Rのビデオフォーマット記録のディスクを含む）で楽しめる機能を表します。(本文ではDVDと表現します。)

DVD-RWのVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録のディスクで楽しめる機能を表します。

音楽用CDで楽しめる機能を表します。

ビデオCDで楽しめる機能を表します。

MP3が記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。

フジカラーCDなどのJPEGが記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。

操作上、気をつけていただきたい情報を表します。

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行っています。

ディスクについて

再生できるディスク

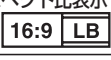
ディスクの種類	ロゴ	ディスクの内容
DVDビデオディスク ② ALL リージョン番号 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	DVD VIDEO / DVD VIDEO	音　声＋映　像(動画)
DVD-RW/-R DVDレコーダーで記録されたディスク	DVD RW / DVD R	
DVD+RW/+R DVDレコーダーで記録されたディスク	RW DVD+ReWritable / RW DVD+R	
ビデオCD NTSC方式のビデオCD	VIDEO CD / COMPACT disc DIGITAL VIDEO	音　声＋映　像(動画)
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音　声
CD-RW / CD-R 音楽用CD/MP3ファイル形式で記録されたディスク	COMPACT disc ReWritable / COMPACT disc Recordable	
CD-RW / CD-R JPEGファイル形式で記録されたディスク	COMPACT disc ReWritable / COMPACT disc Recordable	静止画像
フジカラーCD	FUJICOLOR CD COMPATIBLE	デジタル画像

- **本機は12cm盤ディスクのみの再生専用機です。8cm盤ディスクは使用しないでください。**
- **8cmアダプター（音楽CD用）は使わないでください。故障の原因となります。**
- ディスクレーベル面に上記ロゴマークが入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用された場合は、再生できない場合があります。また、再生できた場合でも、画質、音質の保証は致しかねます。
- ディスクの記録状態、傷、汚れやDVD再生機のレーザーピックアップの状態により再生ができない場合があります。

DVD-RW/-Rディスクの再生について

- 再生できるDVD-Rディスクは、ビデオフォーマットで記録されているディスクです。VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたディスクは再生できません。
- 再生できるDVD-RWは、ビデオフォーマットまたはVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されているディスクです。
- DVD-RW/-Rディスクは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行ってください。
- ビデオフォーマット、VRフォーマット、ファイナライズ等、DVD-RW/-Rについて詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

RW COMPATIBLE この表示は、DVDレコーダーでVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示します（CPRM対応）。

DVD+RW/+Rディスクの再生について

- 再生できるDVD+RW/+Rは、ビデオフォーマットでファイナライズ済みのディスクです。

ちょっと一言！

DVDビデオディスク

- 本機は、NTSC方式に適合しています。PAL方式で記録されたディスクは再生できません。
- DVDビデオには、リージョン番号（再生可能地域番号）が設けられています。
  本機のリージョン番号（再生可能地域番号）は「2」です。
  （リージョン番号が2以外でも「ALL」と表記されているディスクは、再生できます。）

DVDビデオディスクに表示されているマーク

マーク	説明	マーク	説明
音声記録方式 ④	複数の音声トラックが収録されていることを示すマークです。マーク内に記載されている数字は、ディスクに収録されている音声数を示します。	マルチアングル機能表示	マルチアングル機能を有するディスクであることを示すマークです。マーク内に記載されている数字は、アングル数を示します。
		映像アスペクト比表示 16:9 LB	アスペクト比切り換え可能な画面タイプを示すマークです。
サブタイトル表示 2	ディスクに収録されている字幕言語数を示すマークです。 マーク内に記載されている数字は、字幕言語数を示します。	リージョン番号 ② ALL	再生可能地域番号を表示しています。

ちょっと一言！

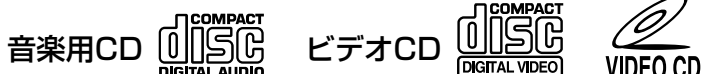
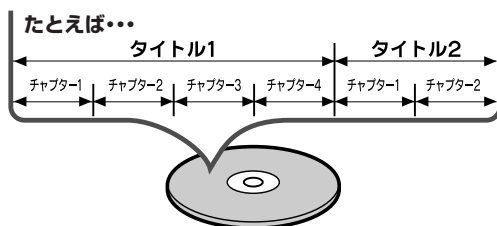
- ■ 上記のディスク以外は再生できません。
- ■ 記録時間が短いディスクは、再生できない場合があります。
- ■ 2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。
- ■ DVD-RW/-R、DVD+RW/+R、CD-RW/-Rを再生するとき、ディスクの記録状態が記録用機器、ディスク自体の状態、ディスクとの相性によっては再生できないことがあります。
- ■ CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
- ■ ディスクにラベルや紙などを貼り付けると、再生できない場合があります。

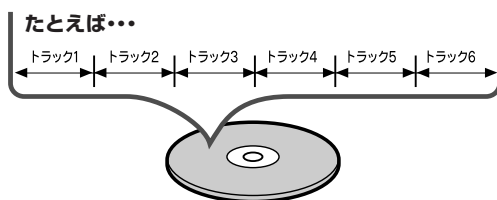
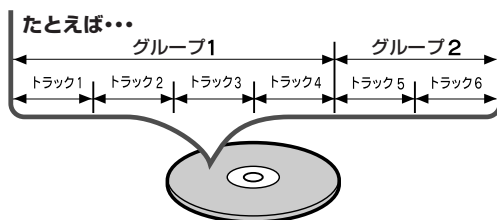
ディスクの構成

DVD

ディスク上のデータは、**タイトル**とよばれる部分に分けられており、また各**タイトル**は、**チャプター**というさらに小さな部分に分けられ、それぞれにタイトル番号またはチャプター番号が与えられています。
一部のディスクでは、再生条件があらかじめ設定されており、お客様の操作よりもこの再生条件の方が優先されます。
ご自分が選択した機能が希望どおりに実行されない場合には、ディスクに付属されている説明書をお読みください。

音楽用CD　ビデオCD

たとえば･･･
トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5　トラック6

音楽用CDやビデオCD上のデータは、**トラック**とよばれる部分に分けられ、それぞれにトラック番号がつけられています。

CD-RW/-R
（MP3/JPEGファイル形式）

CD-RW/-Rに記録されているMP3およびJPEGのデータは**グループ**とよばれる部分に分けられ、**各グループ**は**トラック**とよばれる小さな部分に分けられています。MP3またはJPEGデータ作成の際、アルバムやトラックは**階層**に分けて記録させることができます。（記録方法はMP3レコーダーなどの説明書をご覧ください。）本機では8階層まで認識することができます。

ビデオCDについて

ビデオCDには下記の2種類のソフトがあり、それぞれ操作や機能が違います。

■ PBC対応でないソフト（バージョン1.1）
　音楽用CDと同様に操作します。映像と音楽が再生できます。

■ PBC対応ソフト（バージョン2.0）
　対話型、検索機能などソフト固有のメニューがついており、メニュー画面にしたがって多様な再生ができます。

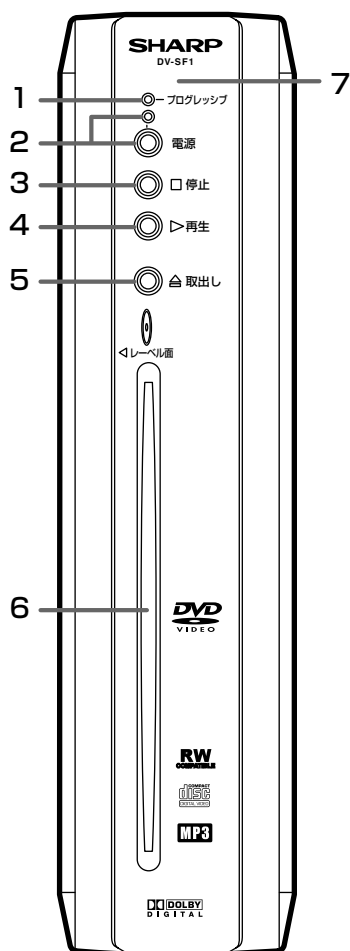
- PBCとはプレイバックコントロールの略称です。
- ビデオCDバージョン2.0（PBC対応ソフト）には、再生をコントロールするための信号が記録されています。本機でPBC対応ソフトを再生すると、PBC機能により、ディスク固有のメニュー画面を使って動画や静止画再生を可能にします。
- PBC（プレイバックコントロール）対応ソフトはそれぞれ操作が異なります。操作方法についてはソフトに付属の説明書にしたがってください。
- PBC対応ソフトは説明書やケースに種類が記されています。

ご注意

- PBC対応ソフト再生時は、PBC機能が優先され、本機側の設定（希望するところからの再生やリピート再生）は、機能しません。その場合PBC機能を解除し、本機側の設定を機能させてください。[➡ 25ページ]

各部のなまえ

前面

後面

1. **プログレッシブランプ [21、63ページ]**
・プログレッシブを「オン」に設定した場合に点灯します。

2. **電源ボタン [24ページ]**
・電源を入／切します。

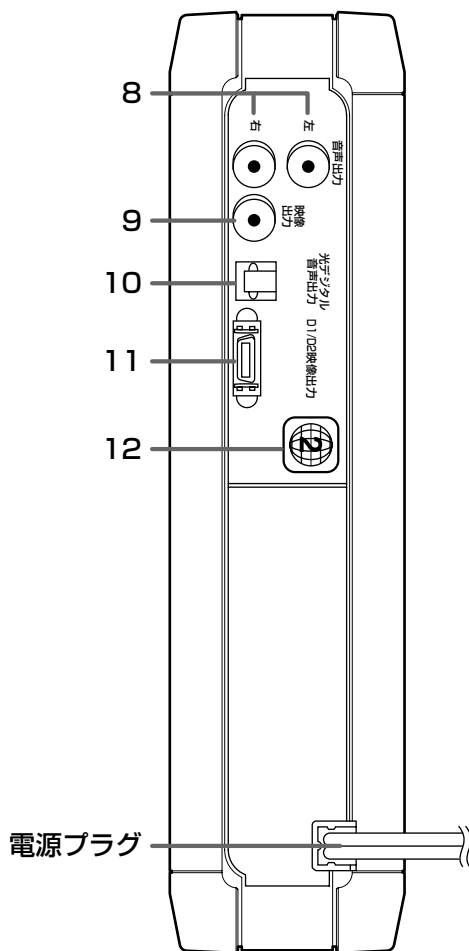
電源ランプ [24ページ]
・電源を入れると点灯します。

3. **停止ボタン [25ページ]**
・再生を停止します。

4. **再生ボタン [25ページ]**
・ディスクを再生します。

5. **取出しボタン**
・ディスクを取出すときに使用します。

6. **ディスクスロット [24ページ]**
・ディスクをセットします。

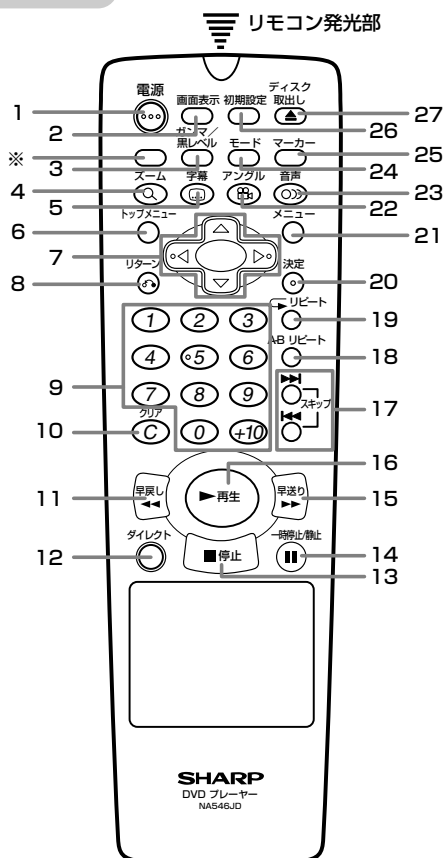
7. **リモコン受光部 [18ページ]**

8. **音声出力端子 [20ページ]**

9. **映像出力端子 [20ページ]**

10. **光デジタル音声出力端子 [22ページ]**
・光デジタル音声入力端子付きの機器と接続します。

11. **D1/D2映像出力端子 [20ページ]**
・D映像入力端子付きのテレビと接続します。

12. **リージョン番号 [14ページ]**
・本機のリージョン番号は2です。

リモコン

1. 電源ボタン [24ページ]

2. 画面表示ボタン [52ページ]
・再生情報を表示します。

3. ガンマ／黒レベルボタン [54ページ]
・画面で暗いところを明るくします。

4. ズームボタン [44ページ]
・DVD（ビデオCD、JPEG）再生画像の一部を拡大します。

5. 字幕ボタン [42ページ]
・字幕（言語）を切り換えます。

6. トップメニューボタン [36ページ]
・DVDディスクの最上層のメニューを表示します。

7. カーソルボタン（4方向） [35ページ]
・画面での設定に使用します。

8. リターンボタン [35ページ]
・1つ前の設定画面に戻ります。PBC対応ビデオCD再生時、ディスクメニューを表示する時に使用します。また音楽用CD、MP3、JPEGでプログラムの内容を記憶した状態で停止するときに使用します。

9. 数字ボタン [38〜40ページ]
・各設定、選択などに使用します。
・+10ボタン
2桁以上の数字を入力するときに使用します。

10. クリアボタン [32、33ページ]
・各設定の取り消しに使用します。

11. 早戻しボタン [26ページ]
・お好みの位置まで戻します。

12. ダイレクトボタン [38〜40ページ]
・お好みのチャプターまたはタイトルを選択して再生するときに使用します。

13. 停止ボタン [25ページ]
・ディスクの再生を止めます。

14. 一時停止/静止ボタン [28ページ]
・ディスクの再生を一時的に止めます。
また、コマ送りするときに使用します。

15. 早送りボタン [26ページ]
・お好みの位置まで進めます。

16. 再生ボタン [25ページ]
・ディスクの再生を始めます。

17. スキップボタン [28ページ]
・お好みの場面や曲の頭出しをします。

18. A-Bリピートボタン [32ページ]
・お好みの部分だけを繰り返し再生します。

19. リピートボタン [31ページ]
・再生中のディスク、タイトル、チャプター、トラックの繰り返し再生をします。

20. 決定ボタン [35ページ]
・選択した項目を確定するときに使用します。

21. メニューボタン [35、37、45、46ページ]
・ビデオCD以外のディスクのディスクメニュー画面を表示します。

22. アングルボタン [43ページ]
・再生画のアングル（カメラアングル）を変更します。

23. 音声ボタン [41ページ]
・音声（言語）を切り換えます。

24. モードボタン [29、33、34、54ページ]
・停止中に押すと、プログラム再生画面とランダム再生画面を切り換えます。（CD）
・再生中に押すと早見・早聞き／遅見・遅聞きモードになります。（DVD）
・バーチャルサラウンドを設定するときに使用します。

25. マーカーボタン [55ページ]
・頭出ししたい箇所を指定します。

26. 初期設定ボタン [57ページ]
・各設定に使用します。

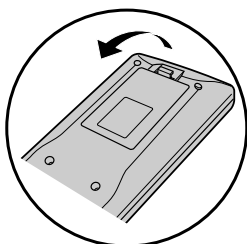
27. ディスク取出しボタン
・ディスクを取出すときに使用します。

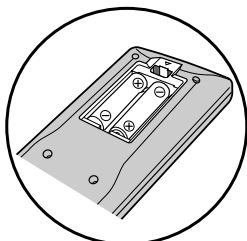
※　本機ではこのボタンは機能しません。

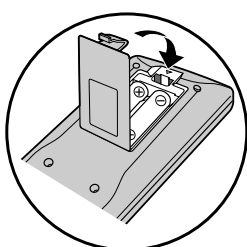
ちょっと一言！

■ リモコンの電池の入れかた、操作方法については、18ページをご覧ください。

リモコン乾電池の入れかた

1

リモコン裏側のフタをはずす

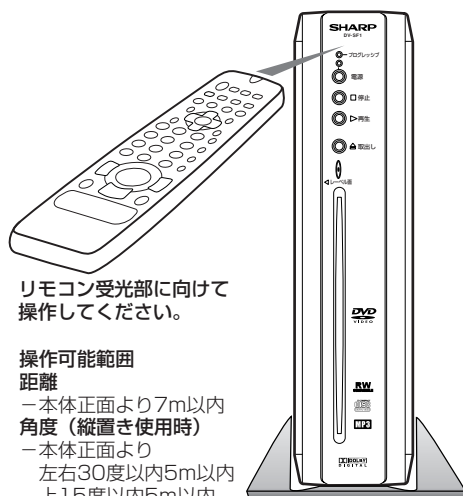
2

乾電池を入れる
●⊕⊖を確かめる
●⊖側を先に入れる

3

フタをつける

■ 乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠注意

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり充電したり分解したりしないでください。
- 乾電池は種類によって特性が異なります。種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら…
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 不要になった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）にしたがって処理してください。

リモコンの操作方法

リモコン受光部に向けて操作してください。

操作可能範囲
距離
－本体正面より7m以内
角度（縦置き使用時）
－本体正面より
　左右30度以内5m以内
　上15度以内5m以内
　下30度以内3m以内

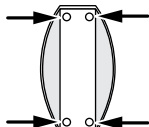
ちょっと一言！

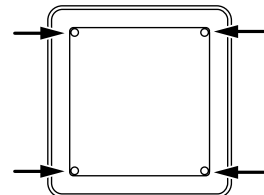
■ リモコンには衝撃を与えないでください。
■ リモコンを水に濡らしたり湿度の高いところには置かないでください。
■ 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。
このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し、5分以上たってから入れ直してください。
■ 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
■ 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。早めに新しい乾電池と交換してください。（寿命は通常6ヶ月～1年が目安です。）
■ 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取出してください。
■ リモコンは発光部を本体のリモコン受光部に向け、本体正面で約7m以内のところから操作してください。

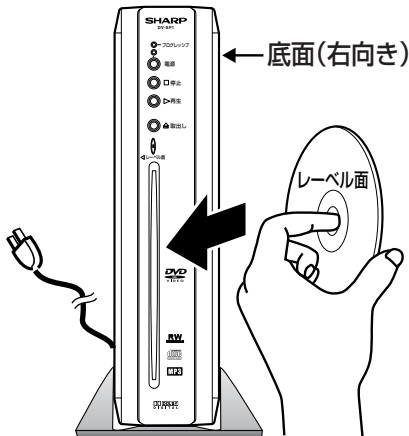
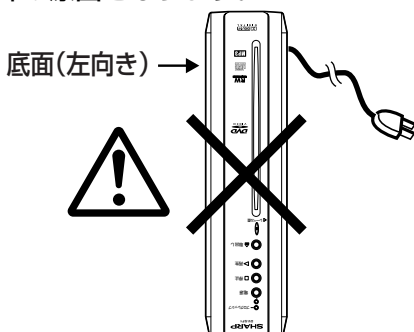
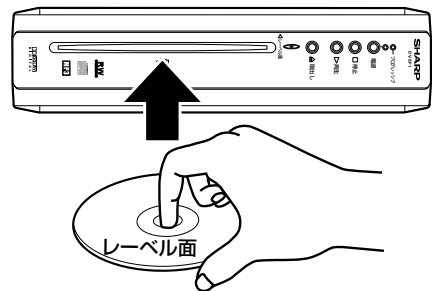
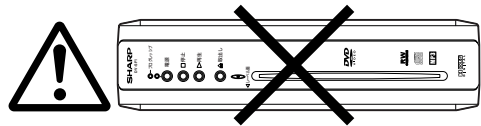
設置のしかた

本機はお好みに応じて、縦置き、横置きの2通りの置きかたが選べます。安定した再生のため、本機をぐらついた台の上や、傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。

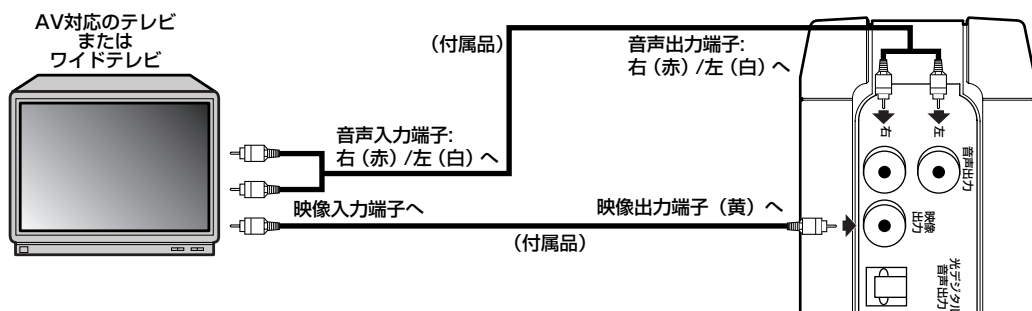
縦置き（垂直置き）

1. フット（すべり止め）をスタンドの底面の4隅に取り付けます。

横置き（水平置き）

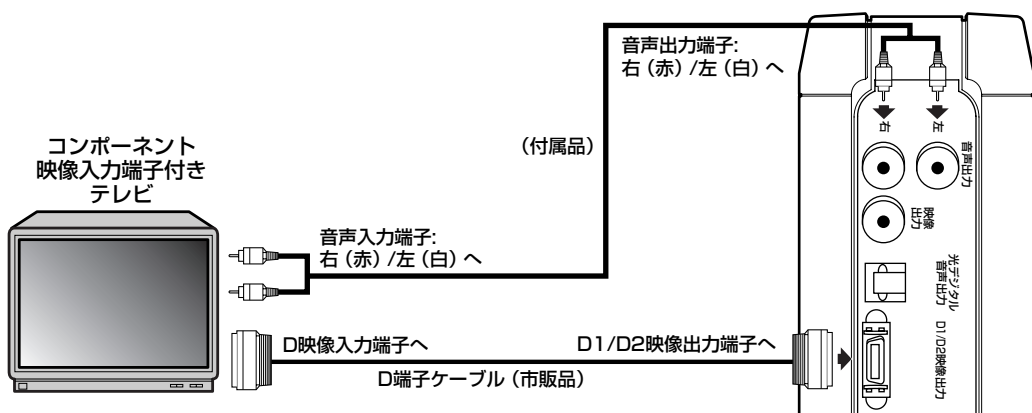
1. フット（すべり止め）を本機の底面の4隅に取り付けます。

2. スタンドにあるツメと本機のくぼみを合わせて備え付けてください。

3. 本機とスタンドを安定したところに垂直に置きます。
ディスクを入れるときはレーベル面を左にして入れます。

底面を左向きにした置きかたはおやめ下さい。
故障の原因となります。

2. 本機を安定したところに水平に置きます。
ディスクを入れるときはレーベル面を上にして入れます。

底面を上向きにした置きかたはおやめ下さい。
故障の原因となります。

テレビとの接続

接続を始める前に…

■ 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
■ 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
■ 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

コンポーネント映像入力端子（D映像入力端子）付テレビをお使いの場合

コンポーネント映像入力端子（D映像端子）とは？

■コンポーネント映像入力端子（D映像端子）を備えたテレビやモニターがあります。この端子に本機を接続することで、さらに高品質の画像を楽しむことができます。
D1/D2映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、D映像端子ケーブル（市販品）を使って、D映像入力端子につなぎます。ケーブル1本で、簡単にコンポーネント映像の接続ができ、より高画質な映像を楽しめます。
コンポーネント映像入力端子の名称はテレビメーカーごとに異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

■ テレビのコンポーネント（色差）入力端子がY、C_B/P_B、C_R/P_Rのピンジャックタイプのときは、市販のコンポーネントビデオケーブル（D-ピンプラグ×3）をご使用ください。
■ 本機はハイビジョン対応のコンポーネント（Y/P_B/P_R）映像入力端子には対応しておりませんので、接続しないでください。（映像は映りません。）

プログレッシブの設定（工場出荷時は[オフ]）

■接続するテレビに合わせて設定してください。テレビがプログレッシブ方式（525p/480p）に対応している場合、本機のD1/D2端子を使って接続し、映像設定で[プログレッシブ]を[オン]にしてください。[➡ 61、63ページ] またテレビをプログレッシブモードに設定します。通常の（プログレッシブ方式に対応していない）テレビをお使いの場合は、本機の再生ボタンを5秒間押し続け、[プログレッシブ]を[オフ]にしてください。（プログレッシブを[オン]荷設定したときは映像端子から信号が出力されません。）

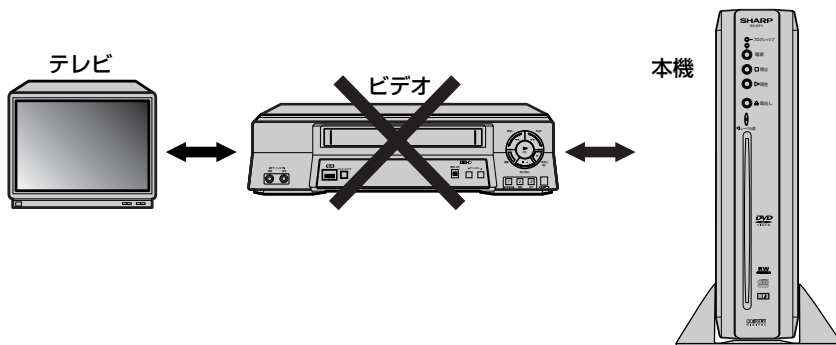
・テレビモニターの映像入力端子がBNCタイプの場合は、市販のアダプターを使用してください。

プログレッシブ方式とは？

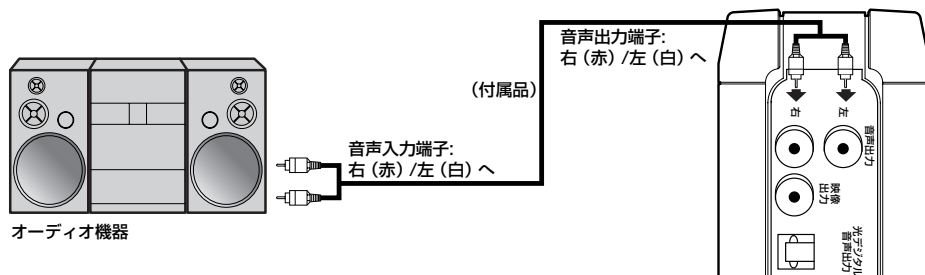
■プログレッシブ方式では従来方式のインターレース方式に対して、よりちらつきの少ない高密度の画像をお楽しみいただけます。

ちょっと一言！

■ ワイドテレビ（16:9）に接続した場合は本機の設定を変更する必要があります。[➡ 61 ～ 62ページ]

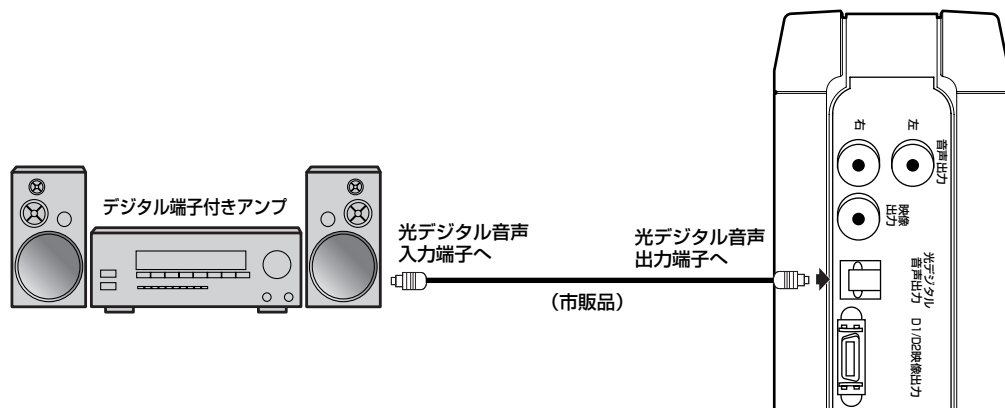
■ 本機はテレビに直接接続してください。ビデオを間に挟んでテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。

アナログオーディオ機器との接続

接続を始める前に…

■ 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
■ 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
■ 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

デジタル入力端子付きアンプとの接続

接続を始める前に…

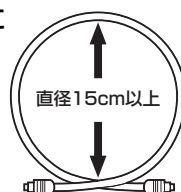
■ 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
■ 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
■ 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

デジタル入力端子付きアンプとの接続には、オーディオ用光デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

■ 各音声モードに対応していないアンプをご使用の場合は、[初期設定]で、音声設定の[ドルビーデジタル]を[DPCM]、[DTS]を[オフ]にしてください。（工場出荷時設定は、[ドルビーデジタル]は[ビットストリーム]、[DTS]は[オフ]です。）正しくない設定でDVDディスクを再生すると、音が歪みスピーカーが壊れることがあります。[➡ 64〜65ページ]
■ ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

光デジタル音声出力端子について

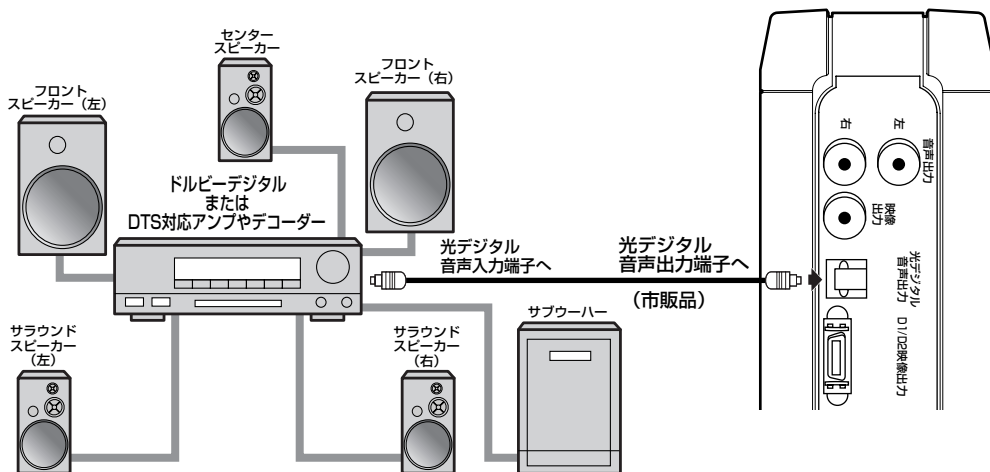
■ 光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、また他の外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

光デジタルケーブルについて

■ 光デジタルケーブル（市販品）をお求めになるときは、あらかじめ接続する機器の端子形状をご確認ください。光角形プラグと光ミニプラグがあります。
■ 光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
■ ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
■ 長さは3m以下のものを使用してください。
■ プラグにほこりがある場合には、柔らかい布でふいてから接続してください。

ドルビーデジタル、DTS対応アンプやデコーダーとの接続

接続を始める前に…

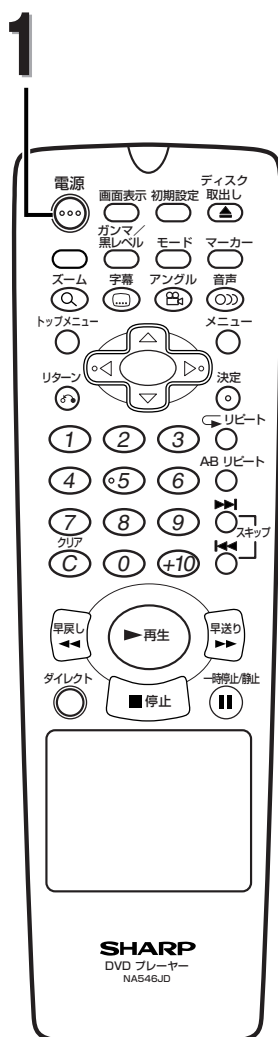
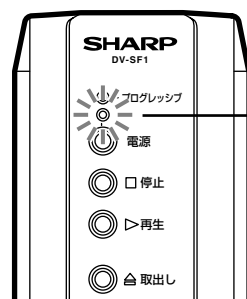
■ 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
■ 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
■ 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

5.1チャンネルドルビーデジタルサラウンド、またはDTSサラウンドフォーマットのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに本機を接続することで高品質のサラウンド音声をお楽しみいただけます。このオーディオ接続にはオーディオ用光デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

■ ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、[初期設定]で音声設定の[ドルビーデジタル]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 64～65ページ]
■ DTS対応アンプやデコーダーに接続する場合には、[初期設定]で音声設定の[DTS]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 64～65ページ]
■ ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、[初期設定]で音声設定の[ドルビーデジタル]を[DPCM]、[DTS]を[オフ]にしてください。(工場出荷時設定は、[ドルビーデジタル]は[ビットストリーム]、[DTS]は[オフ]です。）正しくない設定でDVDディスクを再生すると音が歪みスピーカーが壊れることがあります。[➡ 64～65ページ]

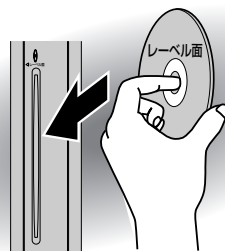
ディスクの再生

再生を始める

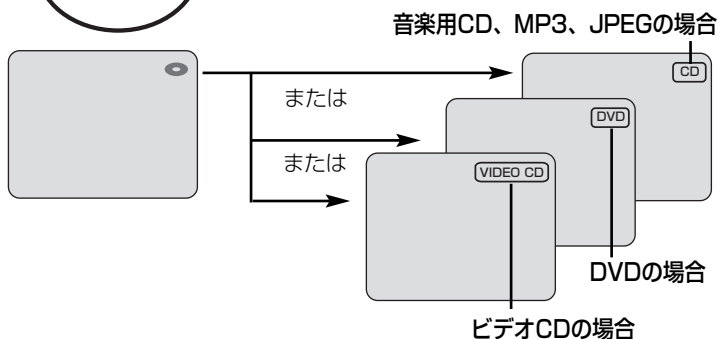
テレビ、アンプ、その他、本機に接続されている機器の電源をすべて入れます。(入力方式を本機に適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確かめてください。)

1

1 電源ボタンを押す

● 電源が入ります。

2 再生するディスクをディスクスロットに挿入する

● ディスクのレーベル面を本機の◁レーベル面と書かれた方向にしてディスクスロットに入れ、軽く押してください。自動で中に引き込まれます。

■ ディスクが裏表逆になっていると、ディスクに傷をつけたり、誤動作の原因となります。
■ 2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。
■ VRフォーマット(ビデオレコーディングフォーマット)で録画されたDVD-RWでは、編集(タイトルの消去・録画の繰り返し)やプレイリスト作成の状態により、再生中に映像が一瞬止まることがあります。
■ 音楽用CDまたはビデオCDを第1セッションに、MP3ファイルとJPEGファイルを第2セッションに記録したような種類の異なるマルチセッションディスクを再生した場合は、第1セッションのみの再生となる場合があります。

3 再生ボタンを押す

- ディスクの最初のチャプター、またはトラックから再生が始まります。
- メニュー画面が記録されているDVDやビデオCDを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。
[➡ 35、36 ページ]
- DVD-RW（VRフォーマット）記録のディスクでは、オリジナル、プレイリスト画面から直接お好みのタイトルを選んで再生することができます。[➡ 37 ページ]

4 再生をやめるときは停止ボタンを押す

■停止

画面に下記の表示が出た場合は、73ページをご覧ください。

ディスクエラー	リージョンエラー	パレンタルエラー
--ディスクを取り出してください。-- 再生可能なディスクを挿入してください。	--ディスクを取り出してください。-- この地域での再生は禁止されています。	現在のパレンタル設定では再生が制限されています。

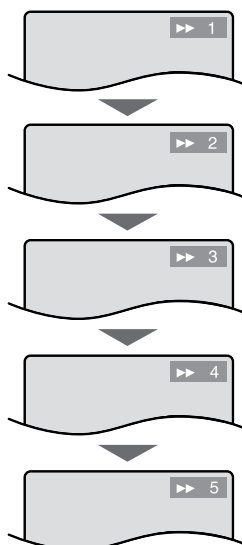
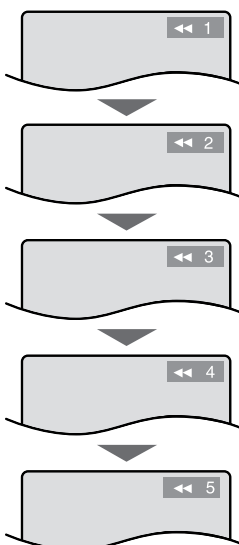
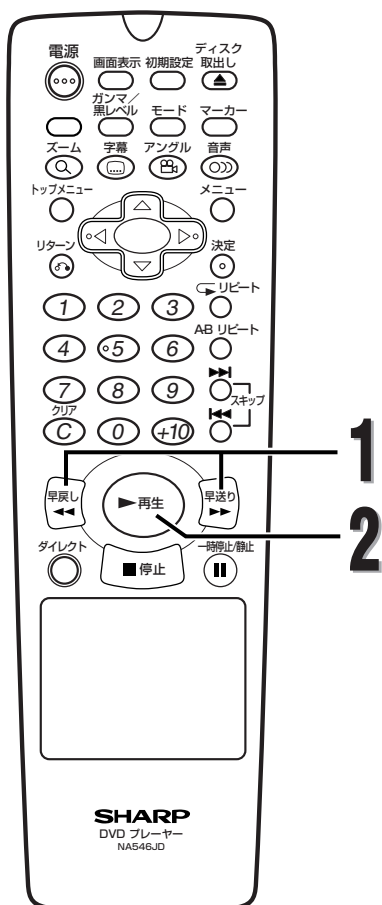
ちょっと一言!

- ■ 本機の動作中にテレビ画面の右上に[⃠（禁止マーク）]が表示されることがあります。これは、禁止されている操作が本機かディスクに対して行われていることを警告するためのものです。
- ■ ディスクに汚れや傷があると、画像が歪んで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源コードをいったん抜き取り、コードを差し込みなおしてから再生を再開してください。
- ■ 再生プログラム信号が備わったタイトルを使っているDVDの場合、2番目のタイトルから再生が始まったり、こういったタイトルを飛ばして再生したりすることがあります。
- ■ メニュー画面対応DVDやPBC（プレイバックコントロール）対応ビデオCDはそれぞれ操作が異なります。操作方法についてはソフトに付属の説明書にしたがってください。[➡ 15、35ページ]
- ■ オートパワーオフを[オン]に設定しているときは、30分以上何も操作しないと自動的に電源が切れます。
- ■ PBC（プレイバックコントロール）対応ビデオCDでPBC再生を行わない場合は再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押してから再生してください。PBC機能を解除した後、再度PBC再生を行うときは停止ボタンを2回押し、再生ボタンを押してください。ディスクを入れ直した場合もPBC再生に戻ります。
- ■ 2層ディスクの場合、レイヤーの変わり目で一瞬画像が静止することがあります。
- ■ 映像や音声が出力されるまでに時間がかかることがありますが、故障ではありません。

再生のしかた

早送り／早戻しをする（サーチ）

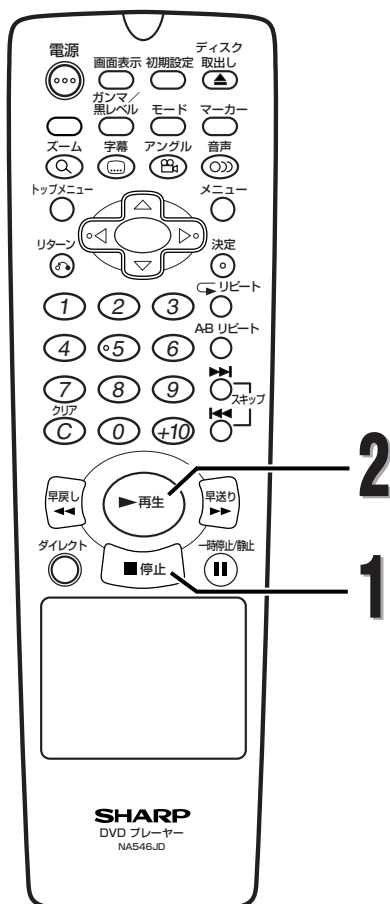
再生中に早送りボタンか早戻しボタンを押す（DVDやビデオCDの音声は出ません。）

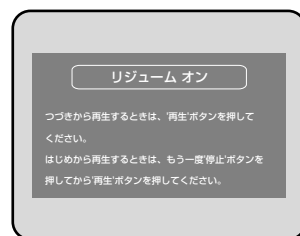
- DVDの場合は早送りボタンまたは早戻しボタンを押すたびに、5段階に再生速度が変わります。
- DVDの場合、ディスクによって早送り／早戻しの速度が異なる場合がありますが、目安は1(約2倍速)、2(約8倍速)、3(約20倍速)、4(約50倍速)、5(約100倍速)です。
- ビデオCD、音楽用CD、MP3の場合、早送り／早戻しの速度の目安は1(約2倍速)、2(約8倍速)、3(約30倍速)の3段階です。

2

再生ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります

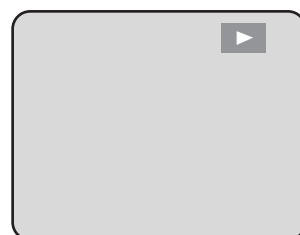
ちょっと一言！

- ■ タイトルまたはトラック（MP3）をまたぐサーチはできません。
- ■ DVDディスクのタイトルからタイトルをまたいだ早送り／早戻しはできません。
- ■ DVDディスクで早送りサーチ／早戻しサーチ中、映像にブレが生じる場合は、[初期設定]で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 61～62ページ]

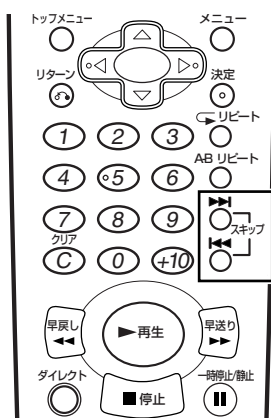
停止したところから再生する（つづき再生）

1 再生中に停止ボタンを押す

● 再生が停止し、次いで画面中央に「つづき再生メッセージ」が表示されます。

〈例：DVD、ビデオCDの場合〉

2 再生ボタンを押す

● 停止した位置から、つづけて再生されます。

ちょっと一言！

■ 停止ボタンを2回押すか、ディスクを取出すと、つづき再生機能は解除されます。
■ PBC（プレイバックコントロール）対応ビデオCDの場合、つづき再生はできません。再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除できます。このとき、停止ボタンを押すと手順1の画面があらわれます。本機の電源を切った後でもつづき再生をすることができます。
■ 電源を切ってもつづき再生の情報は消えません。
■ PBC再生に戻る場合は、停止中（リジュームオフ）から再生ボタンを押します。
■ MP3、JPEG、フジカラーCDの再生時はトラックの先頭から再生します。

チャプターやトラックを頭出しする（スキップ）

1 再生中にスキップボタン[▶▶|/|◀◀]を押す

● DVDの場合は、チャプターの頭出しができます。

● ビデオCD、音楽用CD、MP3、JPEGの場合は、トラックの頭出しができます。

▶▶| ―次のチャプターやトラックを頭出しします。

または

|◀◀ ―現在のチャプターやトラックを頭出しします。（JPEGの場合は前のトラックに戻ります。）さらに押すと前のチャプターやトラックに戻ります。

ちょっと一言！

■ ディスクによってはタイトル（トラック）をまたぐスキップができないことがあります。

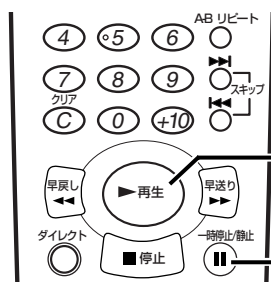
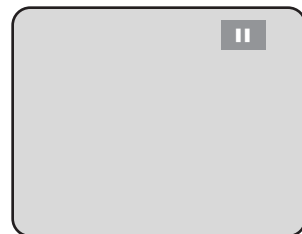
■ MP3とJPEGを同時再生しているときのスキップ操作は、MP3ファイルに対してのみ有効です。ただし、「初期設定」の[スライドショー]を[ミュージック]にしている場合は、MP3とJPEG両方に有効です

一時停止（静止）

1 再生中に一時停止ボタンを押す

● DVDやビデオCDは静止画再生となります。

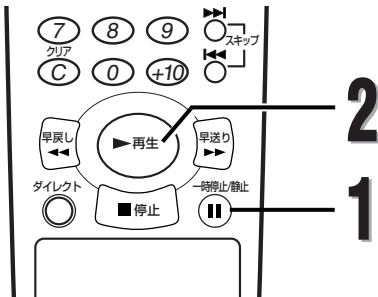
● 音楽用CD、MP3、JPEGは一時停止となります。

一時停止/静止

2 再生を再開するには再生ボタンを押す

ちょっと一言！

■ DVDディスクで一時停止中の映像にブレが生じる場合、[初期設定]で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。
[➥ 61～62ページ]

■ MP3とJPEGの同時再生中に[一時停止/静止]ボタンを押すとJPEGファイルのみ一時停止します。再度[一時停止/静止]ボタンを押すとMP3ファイルも一時停止します。

■ MP3とJPEGの両方が一時停止中に[再生]ボタンを押すと、両ファイルとも再生されます。

コマ送り再生

1 一時停止中にもう1度、一時停止ボタンを押す

● このボタンを押すたびに、コマ送りされます。

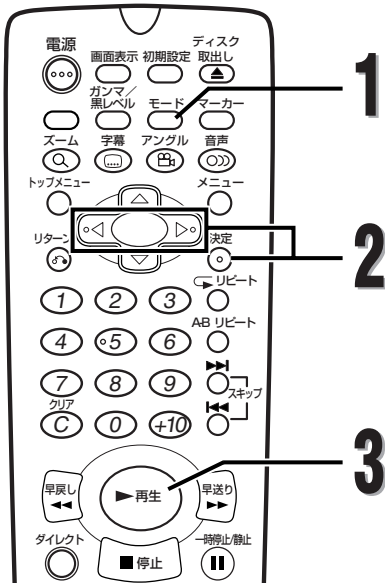
一時停止/静止

2 再生ボタンを押すと再生に戻る

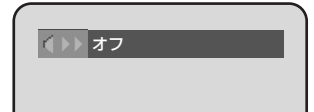
※コマ戻しはできません。

ちょっと一言！
■ コマ送り再生中の映像にブレが生じる場合、[初期設定]で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。
[➡ 61～62ページ]

早見・早聞き／遅見・遅聞き再生

※ドルビーデジタル方式で記録されたディスクのみで動作します。

1 再生中に が表示されるまでモードボタンを繰り返し押す

● 現在の設定状態が表示されます。

モード

2 決定ボタンまたはカーソルボタン[◀/▶]で設定を切り換える

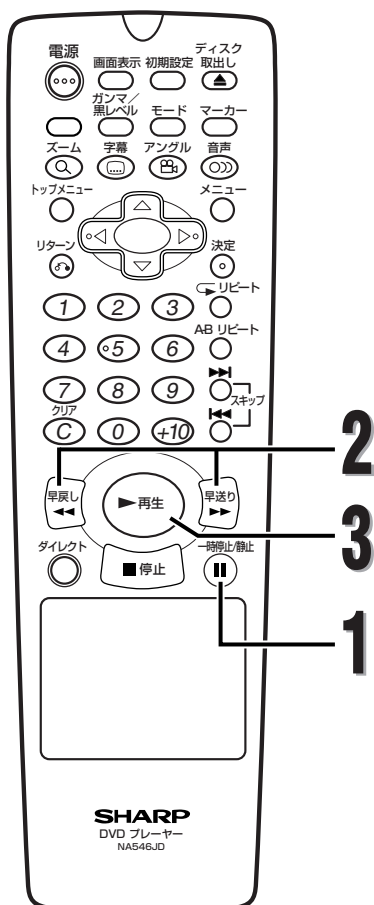
● ♪　：約0.8倍速で再生を行います。（遅見・遅聞き再生）

● ♪♪　：約1.3倍速で再生を行います。（早見・早聞き再生）

● オフ：通常再生を行います。

3 再生ボタンを押すと通常再生に戻ります

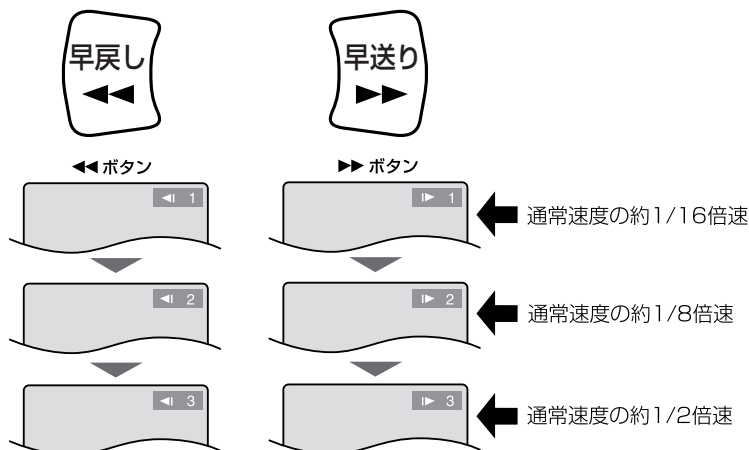
ちょっと一言！
■ 早見・早聞き／遅見・遅聞き再生中は音声（言語）切り換えはできません。
■ 早見・早聞き／遅見・遅聞き再生中はバーチャルサラウンド設定、黒レベル設定、デジタルガンマ設定はできません。
■ 早見・早聞き／遅見・遅聞き再生中、バーチャルサラウンド機能は働きません。
■ ディスクによっては早見・早聞き／遅見・遅聞き再生できない箇所があります。
■ 光デジタル音声出力端子に接続している場合、DPCM音声が出力されます。

スロー再生

1 再生中に一時停止ボタンを押す

- 静止画再生となります。

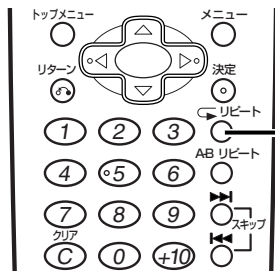
一時停止/静止

2 再生を一時停止している間に早送りボタンか早戻しボタンを押す（音声は消音のままです）

- スローモーションモードで再生が行われます。
- 早送りボタンまたは早戻しボタンを押すたびに、3段階に再生速度が変わります。
- ディスクによって再生速度が異なる場合がありますが、目安は1(約1/16倍速)、2(約1/8倍速)、3(約1/2倍速)です。

3 再生ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります

ちょっと一言！

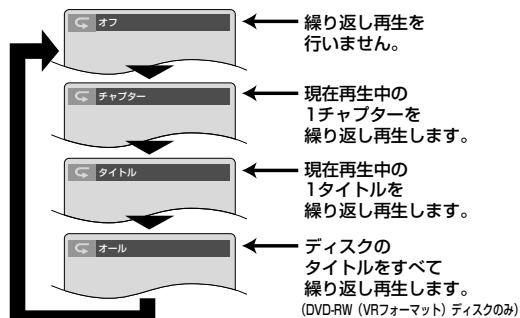
- ■ 音楽用CDのスロー再生はできません。
- ■ ビデオCDの逆方向のスロー再生はできません。
- ■ スロー再生中の映像にブレが生じる場合、[初期設定]で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 61～62ページ]

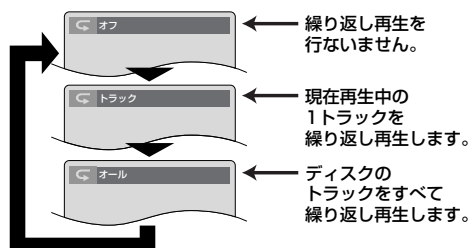
繰り返し再生（リピート再生）

1

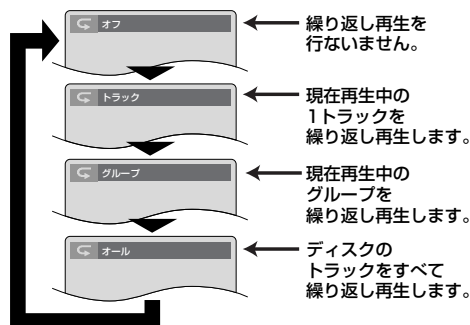
再生中にリピートボタンを押す

リピート

DVDの場合

● １つのタイトル、チャプター、またはディスク全体（DVD-RW（VRフォーマット）ディスクのみ）を、繰り返し再生します。
● リピートボタンを押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

音楽用CD、ビデオCDの場合

● ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。
● リピートボタンを押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

MP3、JPEGの場合

● グループまたは1つのトラック、ディスク全体が繰り返し再生されます。
● リピートボタンを押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

音楽用CD、MP3／JPEGファイル形式のCD-RW/-Rのプログラム／ランダム再生中にリピートボタンを押し、[オール]にするとプログラム／ランダム再生が繰り返し実行されます。

■ ディスクによっては、再生の繰り返しができないものがあります。
■ リピートを設定した以外のタイトル、チャプター、トラックに移ったときは、この設定は消去されます。
■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除できます。このとき、リピートボタンを押すと[オフ]が画面にあらわれます。
■ MP3とJPEGを同時再生しているときのグループリピートは、それぞれのグループが繰り返し再生されます。例えば、グループAのJPEGとグループBのMP3を再生中にグループリピートを設定すると、グループAのJPEGファイルすべてとグループBのMP3ファイルすべてを繰り返し再生します。

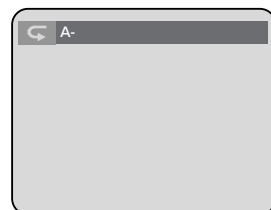
繰り返し再生（A-Bリピート再生）

お好みのシーン（A-B間）を繰り返し再生するように、設定することができます。

1 再生中に繰り返し再生したい開始点（A）でA-Bリピートボタンを押す

● 開始点（A）が設定されます。

A-B リピート

A-

2 リピート再生の最終点にしたい箇所（B）で、再度A-Bリピートボタンを押す

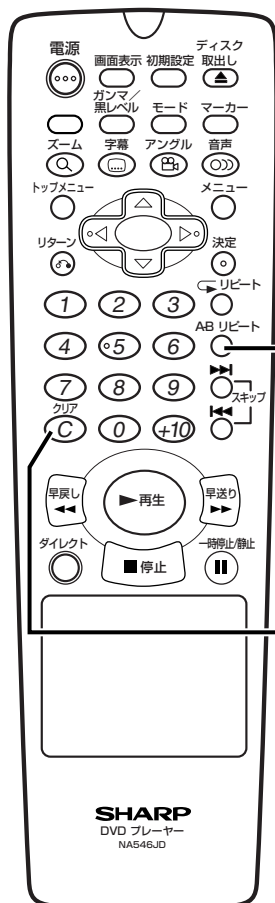
● 選択されたシーン（A-B間）が繰り返し再生されます。

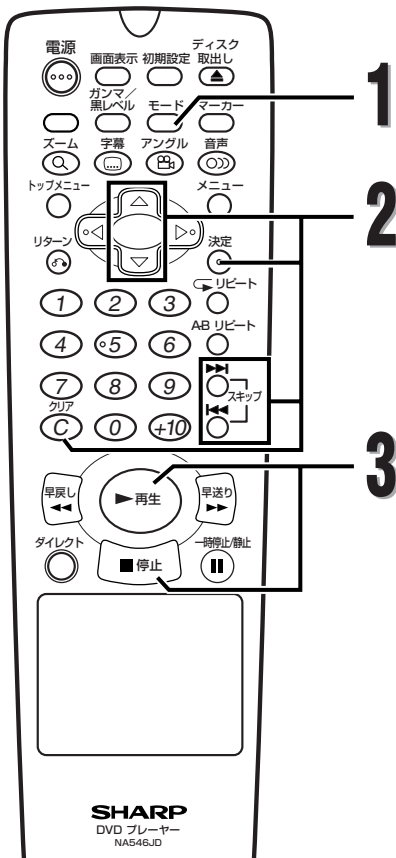
A-B リピート

A-B

3 A-Bリピート再生を終わらせるには、A-Bリピートボタンを押してリピート再生をオフに切り換える

A-B リピート

オフ

■ DVDの場合、A-Bリピート再生は、現在のタイトル内にのみ設定することができます。
■ 音楽用CDやビデオCDの場合、A-Bリピート再生は、現在のトラック内で設定することができます。
■ DVDの場面によっては、A-Bリピート再生機能を利用できない場合があります。
■ 設定された開始点（A）をキャンセルするには、クリアボタンを押します。
■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、一部のシーンでA-Bリピート再生できない場合があります。
■ MP3でのA-Bリピート再生はできません。
■ 開始点（A）のみ設定したままタイトル／トラックの終端まで再生された場合は、自動的に終端にB点が設定されます。

プログラム再生

1 ディスクを挿入し、停止中にモードボタンを押す

● プログラム設定画面が表示されます。

モード

2 カーソルボタン[▲/▼]を押して希望するトラック番号を選択し、決定ボタンを押す

● 引き続き別のトラックをプログラムするときは、手順2を繰り返します。またこのとき、8トラック以上が入力され、画面内に表示しきれない場合は、次のページを示す“▷▷|”(|◁◁)が表示され、スキップボタン[▶▶|/ |◀◀]で入力したトラックの確認ができます。

● 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す " ▽ " が表示されます。

● 選択したトラックの合計時間が画面上側に表示されます。

● 最後に入力したプログラムを取り消すには、クリアボタンを押します。

3 再生ボタンを押す

● プログラムされている順序で再生が開始します。

プログラム再生中、停止ボタンは次のように作動します。

● 停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。

再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。

● 停止ボタンを2回押した場合、プログラム再生オフとなります。

ちょっと一言！

■ プログラム再生中は、プログラムの追加は実行できません。このような操作を行う前に現在の再生を停止してください。
■ プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。
■ すべてのプログラムを消すには、手順2でリストの一番下の[オールクリア]を選択してください。
■ プログラム設定は、電源が切れたり､ディスクを取出すと、消去されます。
■ 1度設定した曲順を入れかえることはできません。曲順を変更したい場合は、手順2でクリアボタンを使って入力しなおしてください。
■ 設定した次のトラックを再生するときはスキップボタン ▶▶|、前のトラックを再生するときはスキップボタン|◀◀ を押してください。
■ 最大で99トラックまでプログラムできます。

ランダム再生

1 停止中にモードボタンを押す

● プログラム設定画面が表示されます。

モード

2 モードボタンをもう1度押す

● ランダム設定画面が表示されます。

モード

3 再生ボタンを押す

● ランダム再生が始まります。

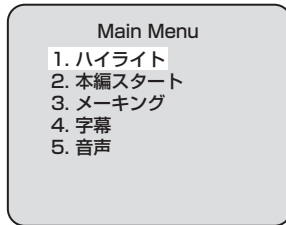
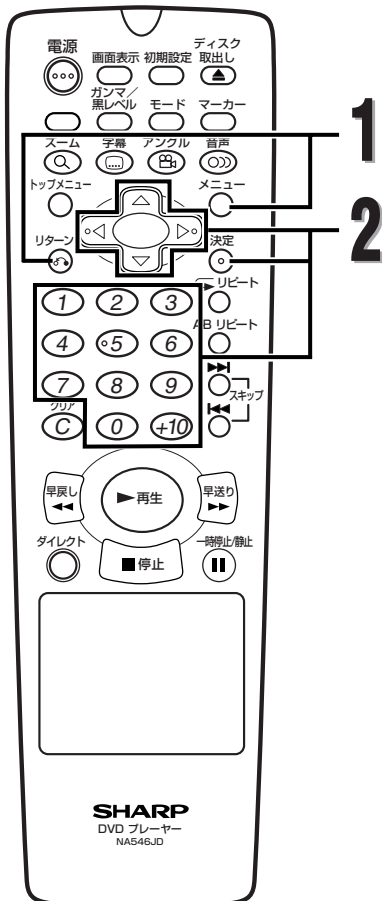
ちょっと一言!

■ ランダム再生中は、希望のトラックからの再生およびプログラム再生はできません。
■ ランダム再生中は、前のトラックへ戻ることはできません。
■ ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクを取出すと解除されます。
■ ランダム再生中に停止ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。

ディスクメニューを使う

DVDやPBC対応のビデオCDの中にはそのディスクの内容を表示するガイダンスメニューや、音声、言語などを設定するメニューなど、そのディスク独自のメニューが入っているものがあります。

（例）

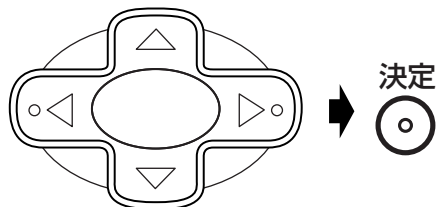
Main Menu
1. ハイライト
2. 本編スタート
3. メーキング
4. 字幕
5. 音声

● 表示される内容はDVDやビデオCDによって異なります。ここでは一般的な操作の例を示しています。

1 再生したいディスクをセットし、メニューボタンを押す

● ビデオCDの場合は、リターンボタンを押してください。

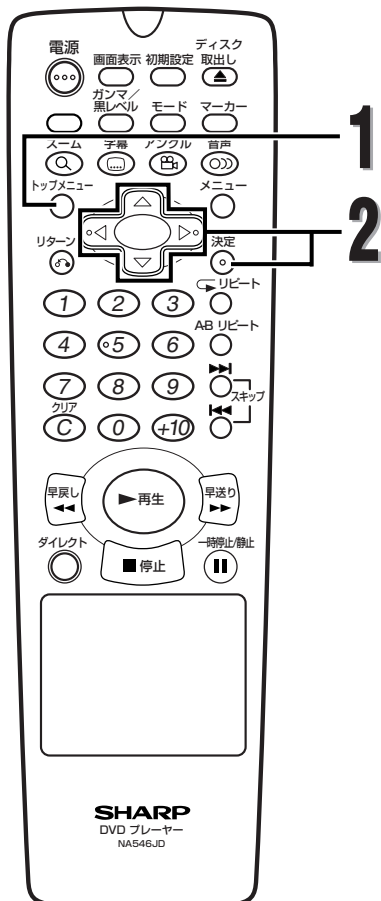
メニュー

● ディスクメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

● カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押してセッティングを変え、決定ボタンを押します。
● ディスクによっては、数字ボタンが有効な場合があります。
● ビデオCDの場合は、数字ボタンを押してください。

3 選択したタイトルから再生が始まります

タイトルメニューを使う

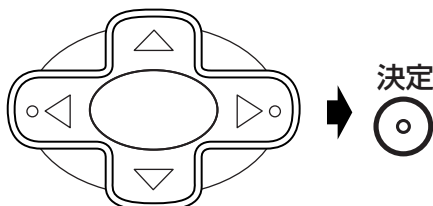
タイトルメニューが入っているDVDの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

1 再生したいディスクをセットし、トップメニューボタンを押す

● タイトルメニューが表示されます。

トップメニュー

2 希望するタイトルを選択する

● カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押して項目を変え、決定ボタンを押します。

決定

再生中にメニュー画面を呼び出す

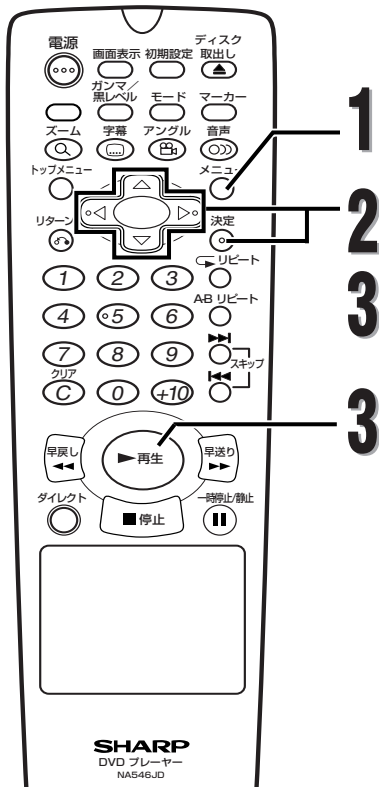
● メニューボタンを押してDVDメニューを呼び出します。

● トップメニューボタンを押してタイトルメニューを呼び出します。

ちょっと一言!

■ メニューの内容と、この内容に基づいた各メニューの役割りは、ディスクによって異なっています。詳細についてはディスクに付属の説明書を参照してください。

VRフォーマット(ビデオレコーディングフォーマット)記録のDVD-RWディスクを再生する

VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RWディスクにプレイリストを設定しているときは、[オリジナル]、または[プレイリスト]を選択して再生することができます。

1 停止中にメニューボタンを押す

● 現在設定されているメニューが表示されます。

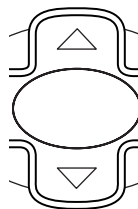
メニュー

2 カーソルボタン[◀/▶]を押して[オリジナル]、または[プレイリスト]を選択し、決定ボタンを押す

● プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面にプレイリストは表示されません。

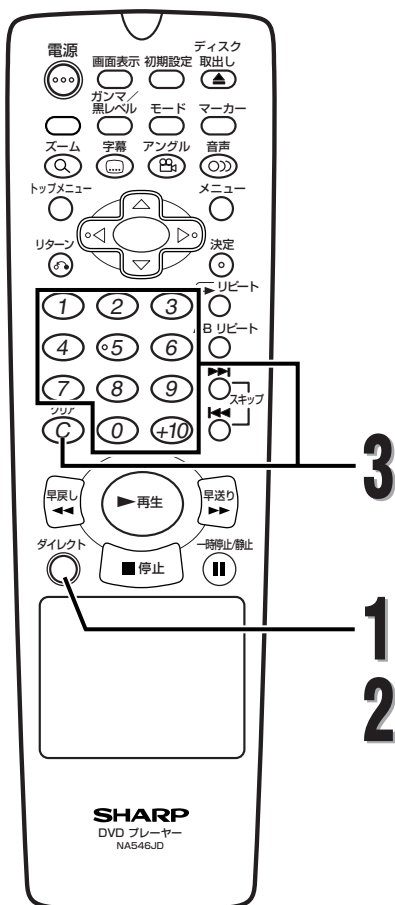
● [オリジナル]と[プレイリスト]を切り換えると、つづき情報（リジューム）は解除されます。

3 カーソルボタン[▲/▼]を押して希望するタイトルを選択し、再生または決定ボタンを押す

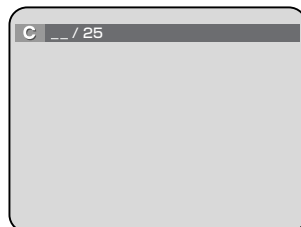
● 選択したタイトルの再生が始まります。

● 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す " ▽ " が表示されます。

ちょっと一言！

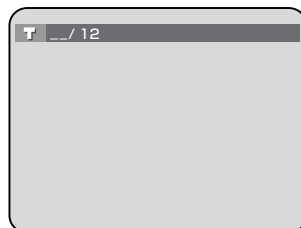
■ DVDレコーダーで録画したディスクの場合、録画して作られたタイトル（番組）をオリジナルと呼びます。
■ オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルをプレイリストと呼びます。
■ ファイナライズされていないディスクは再生できません。
■ VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）のディスクは、DVD-RWディスクを使ってプログラム編集など、DVDレコーダーならではの機能を楽しむための録画モードです。
■ ディスク名／タイトル名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては表示できない（＊が表示される）場合があります。

希望するチャプター／タイトルからのダイレクト再生

1 再生中にダイレクトボタンを押す

● チャプター選択画面が表示されます。

ダイレクト

2 タイトル番号を変更する場合は、もう1度ダイレクトボタンを押す

● タイトル選択画面が表示されます。

T __ / 12

3 数字ボタンを押して希望するチャプターまたはタイトル番号を入力する

● 選択したチャプターまたはタイトルが再生されます。
● ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがあるときに1桁のチャプターやタイトルを選ぶときは、**0**ボタンを押してから希望の数字を押してください。

例）チャプター1：**0 → 1**

● 1桁のチャプターやタイトルしかない場合は、その数字を押してください。

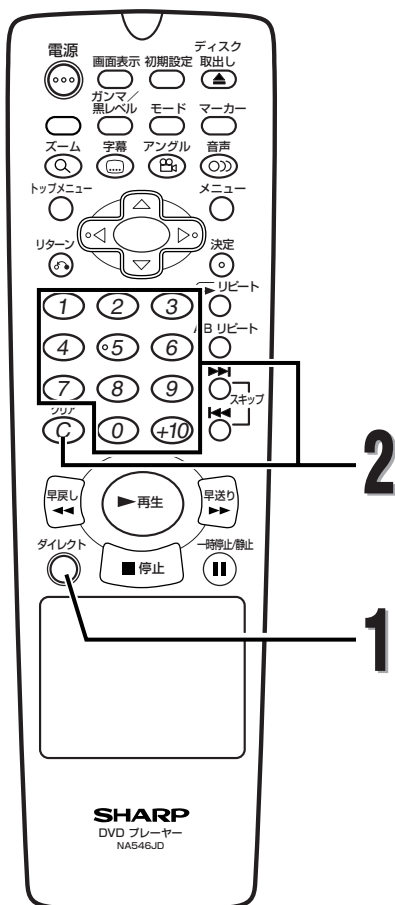
例）チャプター1：**1**

● 入力を間違った場合は、クリアボタンを押して入力しなおしてください。

スキップボタン[▶▶| / |◀◀]の使いかた

再生中または再生が一時停止中にスキップボタン ▶▶| を押すと、そのときに再生されていたチャプターを飛ばして次のチャプターが再生されます。スキップボタン|◀◀ を1回押すと、そのときに再生されていたチャプターの頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内にスキップボタン|◀◀ をもう1回押すと1つ前のチャプターに戻ります。

■ DVDによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。
■ 再生中に希望するチャプター番号の数字ボタンを押すと、現在再生中のタイトルのチャプターNo.を選択し、再生します。
■ 停止中に希望するタイトル番号の数字ボタンを押すと、指定したタイトル番号の先頭から再生します。

希望するタイムカウントからの再生（タイムサーチ）

1 再生中にタイムサーチ画面が表示されるまでダイレクトボタンを繰り返し押す

● タイムサーチ画面が表示されます。

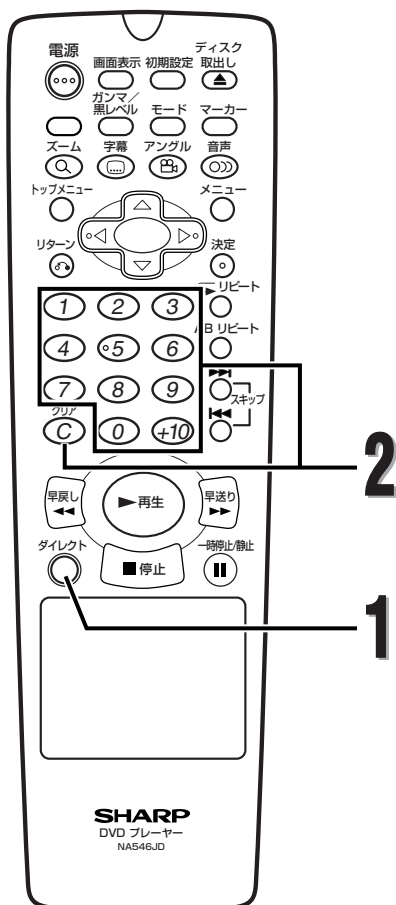
2 数字ボタンを押して希望するタイムカウントをセットする

● 例： 1時間23分30秒
1→2→3→3→0

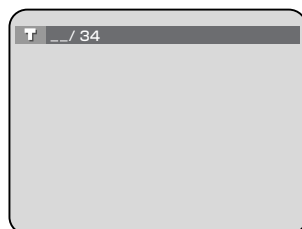
● 入力を間違った場合は、クリアボタンを押して入力しなおしてください。

ちょっと一言！

■ DVDの場合、再生中のタイトルの中でのタイムサーチとなります。他のタイトルへのタイムサーチはできません。
■ ビデオCDや音楽用CDの場合、同一トラック内でのタイムサーチとなります。CD（ディスク）全体としてのタイムサーチはできません。（ビデオCDは、PBC再生しているとタイムサーチが働きません。）
■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、タイムサーチはできません。再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除できます。このとき、ダイレクトボタンを2回押すと、手順1の画面があらわれます。
■ ディスクによっては、希望する特定のタイムカウントからの再生ができないことがあります。
■ 停止中は、タイムサーチはできません。
■ タイトルやトラックの総時間に応じて、入力する必要のない箇所にはあらかじめ[0]が表示されます。例えばタイトルの総時間が10分未満ならば、[0:0_:_ _]と表示されます。

希望するトラックからのダイレクト再生

1 再生中にダイレクトボタンを押す

● トラック選択画面が表示されます。

ダイレクト

2 数字ボタンを押して希望するトラック番号を入力する

● ディスクに2桁以上のトラックがあるときに1桁のトラックを選ぶときは、**0**ボタンを押してから希望の数字を押してください。

例）トラック1：**0 → 1** または **0 → 0 → 1**

● 1桁のトラックしかない場合は、その数字を押してください。

例）トラック1：**1**

● 入力を間違った場合は、クリアボタンを押して入力しなおしてください。

スキップボタン[▶▶| / |◀◀]の使いかた

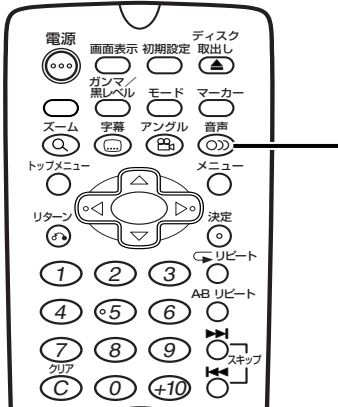
再生中または再生が一時停止中にスキップボタン ▶▶| を押すと、そのときに再生されていたトラックを飛ばして次のトラックが再生されます。スキップボタン |◀◀ を1回押すと、そのときに再生されていたトラックの頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内にスキップボタン |◀◀ をもう1回押すと1つ前のトラックに戻ります。

ちょっと一言！

■ 再生または停止中に数字ボタンを使ってトラック番号を入力しても、希望するトラックから再生を始めることができます。2桁以上のトラック番号を入力する場合は、+10ボタンを押して数字を入力します。（例）トラック14：**+10→1→4**（ビデオCDはPBC再生しているとダイレクト再生が働きません。）

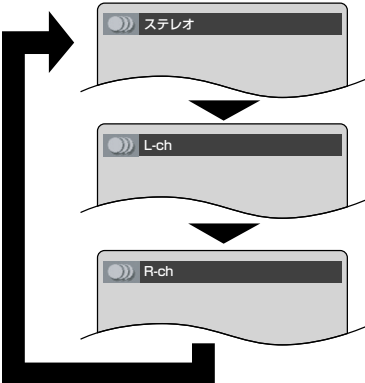
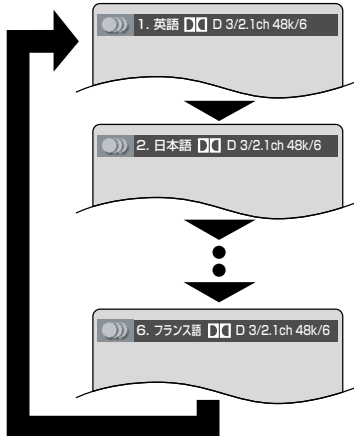
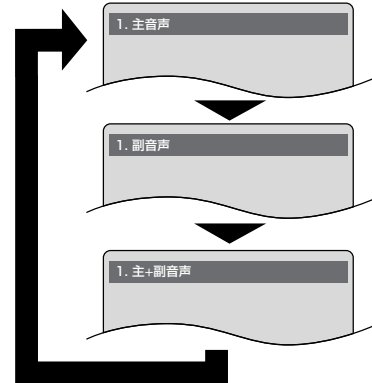
■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、希望するトラックからのダイレクト再生はできません。再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除できます。このとき、ダイレクトボタンを押すと手順1の画面があらわれます。

音声（言語）をかえる

本機には、希望する音声（言語）およびサウンドモードが選択できる機能が備えられています。

1 再生中に音声ボタンを押す

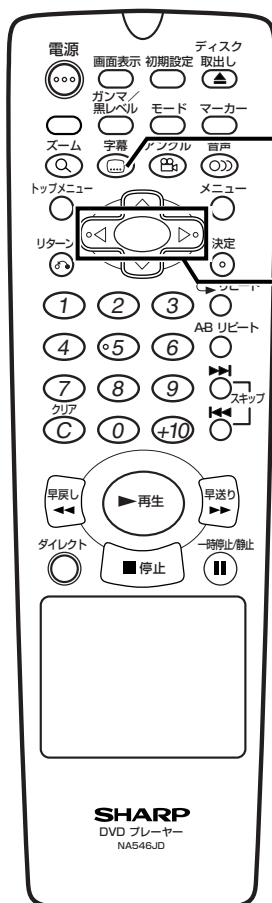
2 さらに音声ボタンを押して希望する音声（言語）を選択する

- 音声（言語）は、そのディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- 二重音声（二ヵ国語）で録画されているDVD-RW（VRフォーマット）では、主音声、副音声、主音声+副音声を切り換えることができます。
- 音楽用CDはステレオ／左チャンネル／右チャンネルに切り換えることができます。

音楽用CD、ビデオCDの場合

DVDの場合

DVD-RW（VRフォーマット）の場合

- ■ DVDによっては、複数の言語が入っていても音声ボタンが作動しないことがあります（例えばディスクメニュー上で言語の設定ができるDVDがあります）。DVDにより操作が異なります。操作方法については、DVDに付属の説明書にしたがってください。
- ■ 音声ボタンを数回押しても希望する言語が表示されないときは､その言語がDVDに含まれていません。
- ■ 電源投入時やDVD交換時は、[初期設定]で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDに含まれていないときは､そのDVDで決められている言語が選ばれます。
- ■ 約5秒後に画面表示が消えます。
- ■ DTS音声で記録された音楽用CDはサウンドモードを切り換えることができません。
- ■ 早見・早聞き／遅見・遅聞き再生中は音声（言語）の切り換えはできません。[➡ 29ページ]
- ■ DVD-RW（VRフォーマット）で二重音声が記録されていない場合は、主音声、副音声、主＋副音声の切り換えはできません。
- ■ デジタル接続のみで音声出力しているときは、VRフォーマットのディスク再生時に音声を切り換えることはできません。

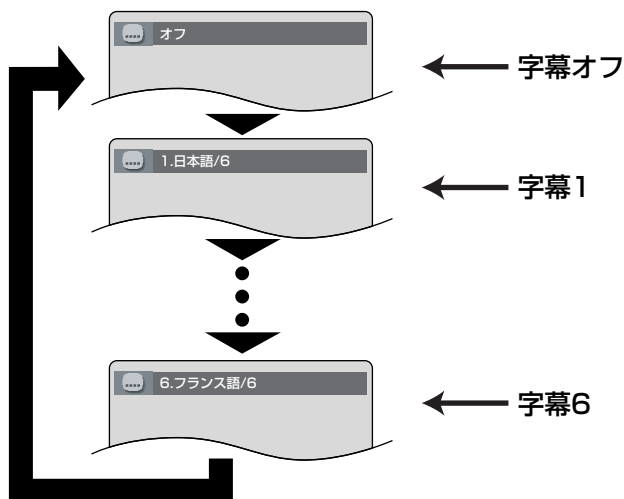
再生中の切り換え

字幕（言語）をかえる

本機には、希望する字幕（言語）を選択できる機能が備えられています。

1 再生中に字幕ボタンを押す

字幕

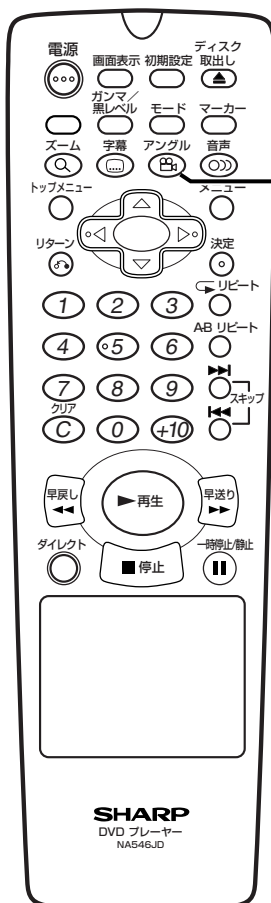
2 さらに字幕ボタンを押して希望する言語の字幕を選択する

- 再生中のDVDに複数の言語が含まれている場合は、字幕（言語）を切り換えることができます。
- 字幕（言語）は、再生中のDVDに1つの言語しか含まれていない場合は、切り換えることができません。

- 字幕ボタンを押すと字幕（言語）が、字幕１、字幕2---と含まれているすべての言語に切り換わります。
- 字幕（言語）オン/オフの切り換えは次のように行うことができます。
  1.字幕ボタンを押す。
  2.カーソルボタン[◀/▶]を押す。

ちょっと一言！

- ■ DVDディスクメニューで字幕（言語）の設定をするDVDがあります。（DVDにより操作が異なります。操作方法については、DVDに付属の説明書にしたがってください。）
- ■ 字幕ボタンを数回押しても希望する言語が表示されないときは、その言語の字幕がDVDに含まれていません。
- ■ 電源投入時やDVD交換時は、[初期設定]で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDに含まれていないときは、そのDVDで決められている言語が選ばれます。
- ■ 変更した字幕（言語）が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
- ■ 約5秒後に画面表示が消えます。
- ■ [なし]が画面上に表示されたときは、字幕はそのシーンに入っていません。

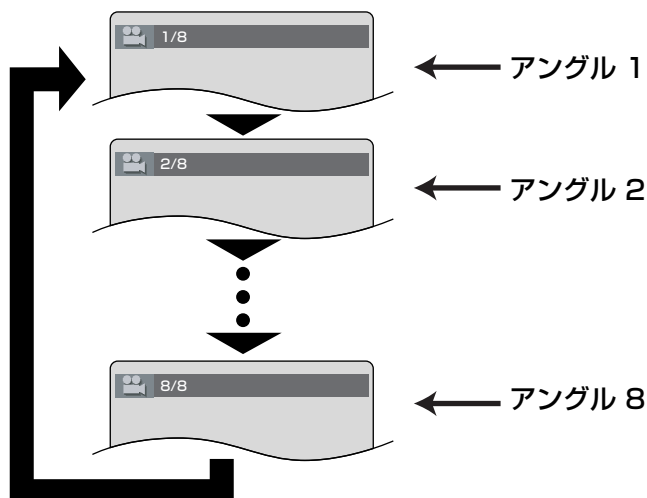
アングル（カメラアングル）をかえる

本機には希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。

1 再生中にアングルボタンを押す

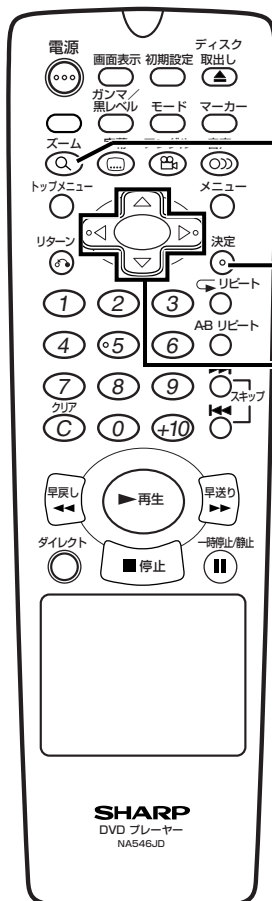
● 各種カメラアングルの画像が記録されたDVDでは、画面右上に[（アングルアイコン）]が表示されます。画面上にこのアイコンが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。その他の設定で[アングルアイコン]が[オフ]に設定されている場合、[（アングルアイコン）]は表示されません。[➡ 68～70ページ]

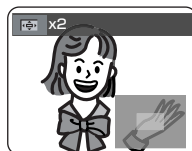
● 異なるカメラアングルから記録された画像がDVD上にない場合には、カメラアングルを変更できません。

アングル

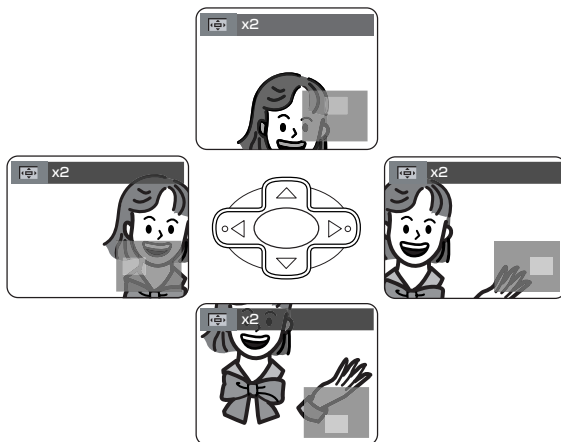
2 アングル番号が画面上に表示されている間にアングルボタンを押す

■ 約5秒後に画面表示が消えます。
■ [アングルアイコン]の設定を[オン]にしている場合、各種カメラアングルの画像が記録されたシーンでは[（アングルアイコン）]が常時表示されます。

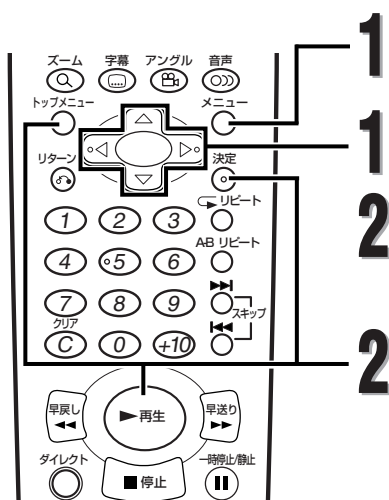
ズーム再生 （画面上で拡大）

画像は、お好みにより画面上で×2または×4の大きさに拡大できます。

1 再生中にズームボタンを押す

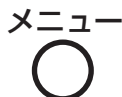
- 画面中央で画像が拡大されます。
- ズームボタンを繰り返し押すと、2段階の切り換えができます。

- ズームボタンを押すと画面の右下にガイドが表示されます。何も操作しない場合、ガイドは自動的に消えます。
- ガイドの表示/非表示は、決定ボタンで行ってください。

2 ズーム再生中にカーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から移動させることができます。上下左右に×2のときは4段階、×4のときは6段階で移動できます。JPEG再生時は、ファイルサイズにより移動できる段階が異なります。
- カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]でズーム位置を動かしたとき、画面の右下に表示されるガイドで現在の位置が確認できます。

■ ディスクによっては×4の大きさに拡大できないものもあります。
■ ビデオCD、JPEGは×2の大きさのみ拡大できます。
■ JPEGは、ガイドが表示されません。

MP3/JPEGディスクの再生

1 MP3またはJPEGが記録されたディスクを挿入し、メニューボタンを押す

●ファイルリスト画面が表示されます。

メニュー

- グループ（フォルダ）名の先頭には "□" が表示されます。
- MP3トラック名の先頭には "♪" が表示されます。
- JPEGトラック名の先頭には "◎" が表示されます。
- 画面内にすべて表示されない場合は、次のページを示す "▽" が表示されます。前のページがある場合には "△" が表示されます。 "▽" の右側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。
- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
- グループの中にMP3またはJPEGトラックが見つからない場合、そのグループは表示されません。
- カーソルボタン◀を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。

2 カーソルボタン[▲/▼]で再生したいグループまたはトラックを選択し、再生ボタンまたは決定ボタンを押す

トラックを選択した場合

選択したトラックから順に再生が始まります。

グループを選択した場合

カーソルボタン▶または決定ボタンを押し、次にカーソルボタン[▲/▼]でそのグループ内の再生したいトラックを選択し、再生ボタンまたは決定ボタンを押すと再生が始まります。

- トップメニューボタンを押すと1番上の階層に戻ります。
- 9階層以降の階層は再生できません。
- JPEG画像が表示されている間は、カーソルボタン▶を押すごとに時計まわりに、カーソルボタン◀を押すごとに反時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。

ちょっと一言！

- ■ 「初期設定」のデュアル再生設定項目については、68〜70ページを参照してください。
- ■ デュアル再生設定項目が[オン]の場合、MP3ファイルとJPEGファイルの両方が記録されたディスクを挿入後、再生ボタンを押すと、先頭のMP3トラックとJPEGトラックから、同時再生が始まります。
- ■ グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- ■ MP3の音声は、デジタル接続したとき、デジタル機器での録音が禁止されます。
- ■ MP3メニューの最初の画面を表示するには、ファイルリスト画面表示中にトップメニューボタンを押します。
- ■ 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- ■ 固定ビットレート32kbps以上で記録されたMP3ファイルを推奨します。
- ■ ファイルリスト画面を表示していない状態で再生しているときに数字ボタンでファイル番号を入力すると、そのファイルのダイレクト再生を始めることができます。
- ■ ファイルリスト画面表示中はダイレクト再生できません。
- ■ 希望するタイムカウントからの再生はできません。
- ■ プログレッシブ形式のJPEG画像は再生できません。
- ■ JPEGファイルの容量が大きいと、画面表示に時間がかかることがあります。

→ 次ページへつづく

3

「初期設定」で[デュアル再生]を[オン]にしている場合

- MP3ファイルが選択された場合、選択されたトラックから再生が始まります。再生が終わると、次のトラックのMP3ファイルが再生されます。
- JPEGファイルが選択された場合、選択されたトラックから再生が始まります。再生が終わると、次のトラックのJPEGファイルが再生されます。

画像と音楽を同時に楽しむには…

- 再生中に、メニューボタンを押すと、ファイルリストが表示されます。
- MP3ファイルを再生中に、ファイルリストからJPEGファイルを選択すると、同時再生が始まります。
- JPEGファイルを再生中に、ファイルリストからMP3ファイルを選択すると、同時再生が始まります。

「初期設定」で[デュアル再生]を[オフ]にしている場合

- MP3ファイルとJPEGファイルは同時に再生されません。この場合、記録されたトラック順に再生されます。

4

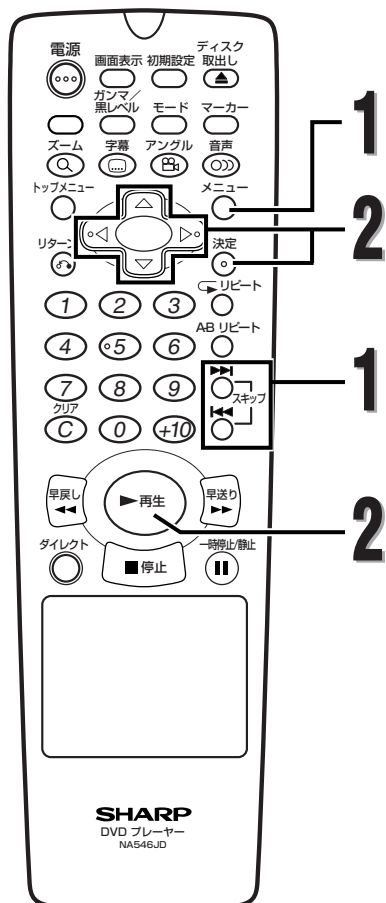
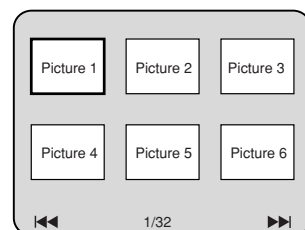
再生を停止するときは停止ボタンを押す

ちょっと一言!

■ デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が3MB以下、画像の大きさが縦×横 4,000×4,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を超えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。
■ デュアル再生は、全てのファイル構成の組み合わせを保証するものではありません。

フジカラーCDの再生

1 フジカラーCDを挿入し、メニューボタンを押す

● フジカラーCDのメニューが表示されます。

現トラック番号/総トラック数

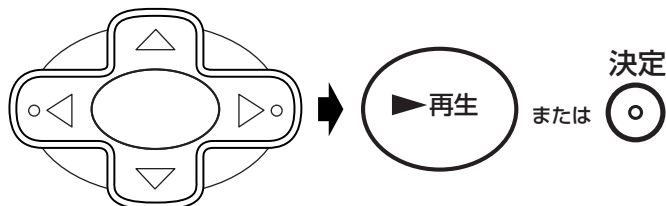
● 画面内にすべてのメニュー項目が表示されない場合は、次のページを示す "▶▶|" が表示されます。前のページがある場合には "|◀◀" が表示されます。

● スキップボタン[▶▶|/|◀◀]を押して、表示したいページを選択します。

● 現在のトラック番号と総トラック数は中央下部に表示されます。

● すべてのメニュー項目が表示されるまで時間がかかることがあります。

2 トラックを選択する

● カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押して再生したいトラックを選択し、再生ボタンまたは決定ボタンを押します。

● 選択されたトラックから画像再生が始まります。トラックは[初期設定]の[スライドショー]で設定された時間（5秒間または10秒間）で表示され、次のトラックに移ります。

● JPEG画像が表示されている間は、カーソルボタン▶を押すごとに時計まわりに、カーソルボタン◀を押すごとに反時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。

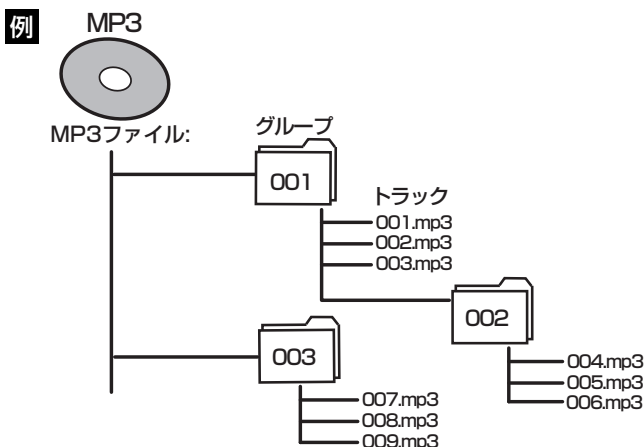
ちょっと一言！

■ 再生中にメニューボタンを押すと[⃠（禁止マーク）]が表示されます。
■ [初期設定]の[スライドショー]を[ミュージック]にしている場合は、5秒で表示されます。
■ [初期設定]の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

MP3/JPEGファイル形式について

■「.mp3(MP3)」という拡張子がついたファイルを「MP3ファイル」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」という拡張子がついたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。

■ ディスクに記録されたMP3ファイルやJPEGファイルはトラックとよばれ、下図のようにグループとよばれるフォルダに分類されます。

例

■ 本機ではExif規格に適合した画像ファイルも再生可能です。
＊Exif (Exchangeable Image File format)はファイルフォーマット形式の一つで、JEIDA (Japanese Electronic Industry Development Association) によって制定されたものです。

■ 拡張子が「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」と「.jpeg(JPEG)」以外のファイルはMP3またはJPEGメニューのリストには表示されません。

■ 拡張子「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」がついたファイルでも、MP3、JPEG形式で記録されていないものを再生するとノイズが出ることがあります。

再生可能MP3ファイル	
サンプリング周波数	44.1kHz　48kHz
ビットレート	32kbps～320kbps
タイプ	MPEG1 オーディオレイヤー3
フォーマット	ISO9600 Level1/Level2 Joliet方式

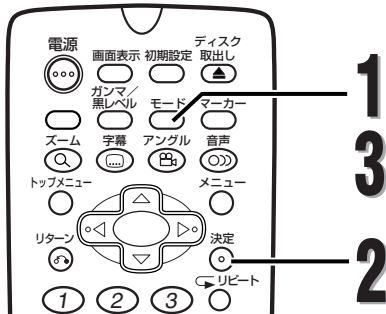
再生可能JPEGファイル		
画像サイズ	JPEG再生時 5MB以下	最大:6,300×5,100ドット 最小:32×32ドット
	デュアル再生時 3MB以下	最大:4,000×4,000ドット 最小:32×32ドット

● 255グループ、999トラックまで認識できます。
● グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
● 9階層以降の階層は再生できません。

ちょっと一言!

■ グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
■ MP3の音声は、デジタル接続したとき、デジタル機器での録音が禁止されます。
■ 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
■ デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が3MB以下、画像の大きさが縦×横 4,000×4,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を超えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。
■「初期設定」の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

スライドショーモード

再生中にスライドショーモードを切り換えることができます。スライドを見るように、画像を順番に表示します。

ちょっと一言！
- ■ JPEGファイルの[スライドショー]の画面切り換わり時間を変えることができます。
  [➡ 68～70ページ]
- ■ [初期設定]の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。
- ■ プログレッシブ形式のJPEG画像は再生できません。

1 再生中に JPG が表示されるまでモードボタンを繰り返し押す

- ● スライドショーモード画面が表示されます。
- ● スライドを見るように画面を順番に表示します。
- ● 停止中、またはファイルリスト画面やピクチャーCD（フジカラーCD）メニュー画面からスライドショーモードを切り換えることはできません。

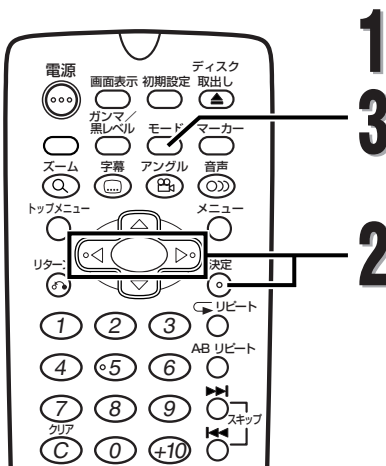
2 決定ボタンを押す

- ● スライドショーモードが切り換わります。
- － カット イン／アウトモード：
  完全な画像を順次表示していきます。
- － フェード イン／アウトモード：
  次の画像に移るときに、徐々に表示していきます。

3 モードボタンを押して終了する

JPEGファイルの画像サイズを調整する

接続するテレビによっては表示されるJPEGファイルの端が切れる場合があります。このような場合には、画像を少し小さくし表示します。

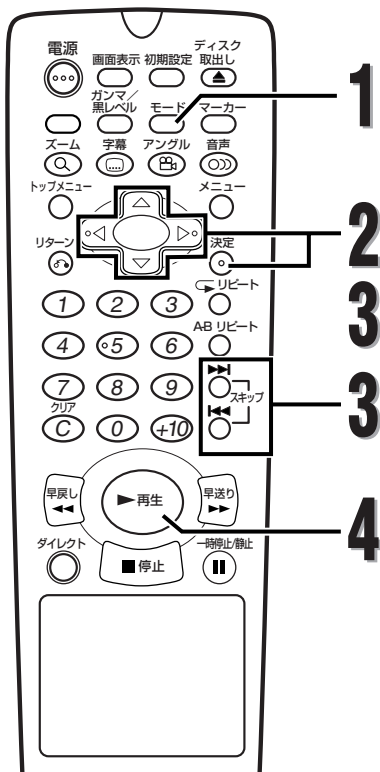
ちょっと一言！
- ■ [スモール]に設定しても、効果のあらわれない画像があります。
  〈例〉画像サイズの小さなファイルなど

1 再生中に が表示されるまでモードボタンを繰り返し押す

- ● 画像サイズ設定画面が表示されます。
- ● 停止中、またはリスト画面から画面サイズ設定画面を表示することはできません。

2 決定ボタンまたはカーソルボタン[◀/▶]で設定を切り換える

- ー ノーマル：100%の画面サイズで表示します。
- ー スモール：95%の画面サイズで表示します。

3 モードボタンを押して終了する

MP3／JPEGディスクをプログラム順に再生する

1 MP3/JPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にプログラム画面が表示されるまでモードボタンを繰り返し押す

● プログラム画面が表示されます。

モード

2 カーソルボタン[▲/▼]でグループを選択し、決定ボタンを押す

● リスト画面が表示されます。

3 カーソルボタン[▲/▼]でトラックを選択し、決定ボタンを押す

● プログラムが入力されます。

● プログラム入力されたトラックは右画面に表示されます。またこのとき、8トラック以上が入力され、画面内に表示しきれない場合は、次のページを示す"▷▷I"（I◁◁）が表示され、スキップボタン[▶▶I/I◀◀]で入力したトラックの確認ができます。

● 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す "▽" が表示されます。

● カーソルボタン◀を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。

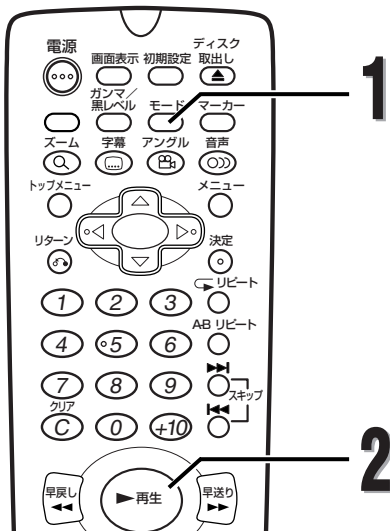
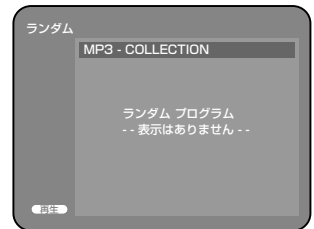
4 プログラム入力を完了し、再生ボタンを押す

● プログラム再生が始まります。

プログラム
フォルダ
MP3
JPEG
ALBUM 01
TRACK 15
TRACK 16
TRACK 17
TRACK 18
TRACK 19
オールクリア
TRACK 21
TRACK 33
TRACK 18
3/3
3/ 3
決定
再生
クリア
TRACK 18

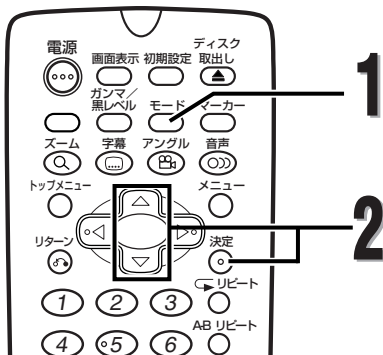
ちょっと一言！

■ [デュアル再生]を[オン]にしている場合、プログラム再生はできません。
■ クリアボタンを押すと最後に入力したプログラムを取り消すことができます。
■ すべてのプログラムを消すには、手順3でリストの一番下の[オールクリア]を選択します。
■ リターンボタンを押すとプログラムの内容を記憶した状態で停止画面になります。
■ プログラム再生を止めるには、停止ボタンを2回押します。設定していたプログラム再生を始めるには、モードボタンを押してから再生ボタンを押します。
■ 電源を切る、またはディスクを取出すとプログラム設定は解除されます。
■ 最大プログラム数は99トラックまでです。

MP3／JPEGディスクをランダムに再生する

1
MP3またはJPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にランダム画面が表示されるまでモードボタンを繰り返し押す

2
再生ボタンを押す

● ランダム再生が始まります。

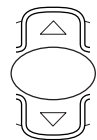
ちょっと一言!
- ■ [デュアル再生]を[オン]にしている場合、ランダム再生はできません。
- ■ ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクを取出すと解除されます。
- ■ ランダム再生中に停止ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。

MP3／JPEGディスクをフォルダごとに再生する（フォルダ再生）

1
MP3またはJPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中に[モード]ボタンを押す

● フォルダリスト画面が表示されます。

● フォルダがない場合の再生方法は45～46ページをご覧ください。

2
カーソルボタン[▲/▼]でフォルダを選択し、[決定]ボタンを押す

● 選択されたフォルダ内のMP3ファイルとJPEGファイルが同時に再生されます。

フォルダ再生中、[停止]ボタンは次のように作動します。

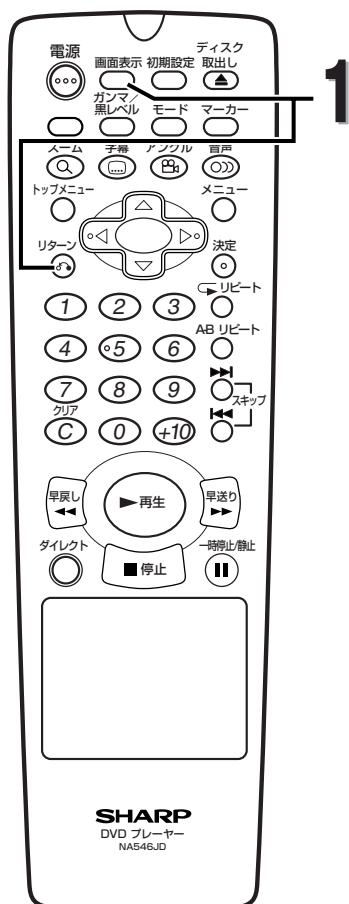
- ● [停止]ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。再び[再生]ボタンを押すと、停止されていた位置から、フォルダ再生を続けることができます。
- ● [停止]ボタンを2回押した場合、フォルダ再生はオフとなります。

ちょっと一言!
- ■ [デュアル再生]を[オフ]にしている場合は、フォルダ再生できません。
- ■ フォルダ再生は、電源が切れたり、ディスクを取出すと解除されます。

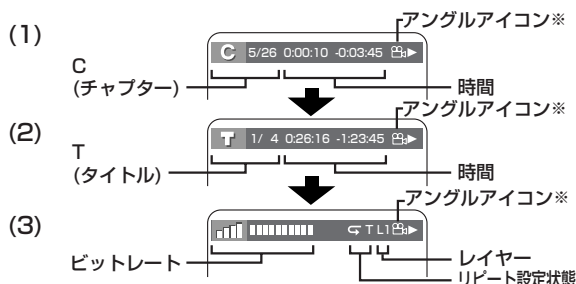
再生中の情報を見る（画面表示）

画面表示の切り換え

リモコンの画面表示ボタンを押してディスクについての情報を確認したり、サーチや再生中の設定を変えることができます。

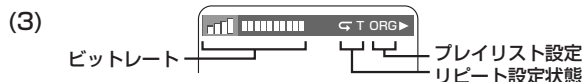
再生情報の表示

1 再生中に画面表示ボタンを押す

- 画面上に情報が表示されます。
- 画面表示ボタンを繰り返し押すと、次の情報が表示されます。

■ DVDの場合

	項目	表示内容
(1)	C	現チャプター番号/総チャプター数
	時間	チャプター経過時間/チャプター残り時間
(2)	T	現タイトル番号/総タイトル数
	時間	タイトル経過時間/タイトル残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは、表示されません）。
	レイヤー	L0/L1 2層ディスクを再生しているとき、現在再生しているレイヤー（層）を表示します。

リターンボタンを押すと、表示なしの再生画面に戻ります。
※カメラアングルが切り換え可能な場合のみ、表示されます。

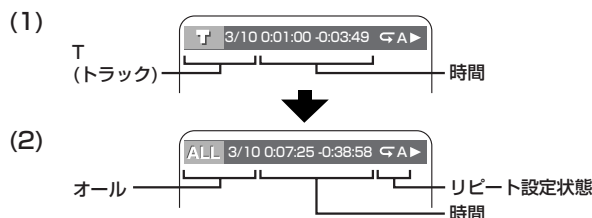
■ DVD-RW（VRフォーマット）の場合

(1)と(2)はDVDの場合と同じです

	項目	表示内容
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。 表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは、表示されません）。
	プレイリスト	ORG：[オリジナル]を再生しています。 PL　：[プレイリスト]を再生しています。

リターンボタンを押すと、表示なしの再生画面に戻ります。

■ 音楽用CD/ビデオCDの場合

(1)

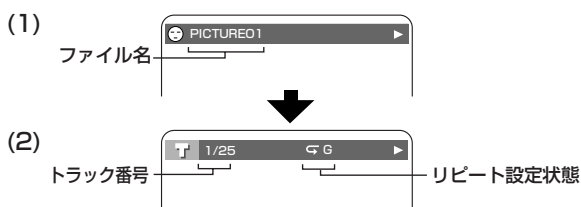
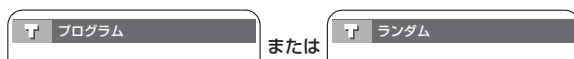
(2)

(3) 音楽用CDのプログラム／ランダム再生中のみ、オールは表示されません

	項目	表示内容
(1)	T	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
(2)	オール	現トラック番号/総トラック数
	時間	ディスク経過時間/ディスク残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T：トラック A：オール

リターンボタンを押すと、表示なしの画面に戻ります。

■ JPEGの場合

(1)

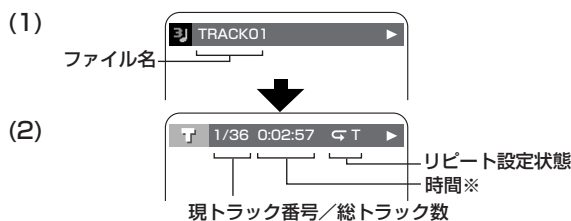
(2)

(3) プログラム／ランダム再生中のみ

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック（ファイル）の名称
(2)	T	現トラック番号/総トラック数
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ） A：オール

リターンボタンを押すと、表示なしの画面に戻ります。

■ MP3の場合

(1)

(2)

(3) プログラム／ランダム再生中のみ

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック名称
(2)	T	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ） A：オール

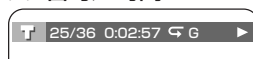
リターンボタンを押すと、表示なしの画面に戻ります。

※VBR（Variable Bit Rate）で記録されたMP3を再生すると、表示時間が正しくない場合があります。

■ デュアル再生オン設定時のMP3、JPEGの場合

(1) JPEGファイル名

(2) MP3ファイル名

(3) MP3のトラック番号／時間

(4) フォルダ再生のみ

	項目	表示内容
(1)	ファイル名（JPEG）	現在再生しているJPEGトラックの名称
(2)	ファイル名（MP3）	現在再生しているMP3トラックの名称
(3)	T	現MP3トラック番号/総トラック数
	時間	MP3トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T：トラック G：グループ A：オール

リターンボタンを押すと、表示なしの画面に戻ります。

バーチャルサラウンド設定

1 再生中に が表示されるまでモードボタンを繰り返し押す

● 現在の設定状態が表示されます。

オフ

バーチャルサラウンド設定表示

2 決定ボタンまたはカーソルボタン[◀/▶]で1/2/オフを切り換える

－１　：サラウンド（標準）
－２　：サラウンド（強）
－オフ：オリジナルの音声を再生します。

黒レベル設定

画面の暗いところを全体的に明るくします。

1 再生中に が表示されるまでガンマ/黒レベルボタンを繰り返し押す

● 現在の設定状態が表示されます。

黒レベル設定表示

2 決定ボタンまたはカーソルボタン[◀/▶]でオン/オフを切り換える

デジタルガンマ

デジタルガンマとは、映像の明るい部分はそのままに、暗くて見づらい部分を明るく、見やすく補正することにより、DVD本来の高画質を豊かに再現するデジタル高画質機能です。

1 再生中に が表示されるまでガンマ/黒レベルボタンを繰り返し押す

● 現在の設定状態が表示されます。

デジタルガンマ設定表示

2 決定ボタンまたはカーソルボタン[◀/▶]で1/2/3/オフを切り換える

－1/2/3：暗い部分を明るく補正します。1から順に明るくなり、3が1番明るくなります。
－オフ　：オリジナルの明るさで再生します。

■ 早見・早聞き／遅見・遅聞き再生中はバーチャルサラウンド、デジタルガンマ、黒レベル設定はできません。[➡ 29ページ]

マーカー設定

マーカー機能を使って、指定した箇所をすばやく頭出しすることができます。マーカーは10個まで設定することができます。

マーカーの設定をするには

1 再生中にマーカーボタンを押す

● 再生設定ウインドウが表示されます。

2 カーソルボタン[◀/▶]で設定されていないマーカー番号を選ぶ

3 マーカーをつけたい箇所で決定ボタンを押す

● マーカーをつけた箇所の時間が表示されます。

4 マーカーボタンまたはリターンボタンを押す

● 再生中画面に戻ります。

■ 設定したマーカーは電源をオフにするかディスクを取出すと削除されますが、バーチャルサラウンド、デジタルガンマ、黒レベル設定は記憶されます。

■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDのPBC機能を解除したいときは、再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押します。このとき、マーカーボタンを押すと手順1の画面があらわれます。

マーカーを設定した箇所から再生を行うには

1 再生設定ウインドウ内の頭出ししたい箇所（マーカー）をカーソルボタン[◀/▶]で選び、決定ボタンを押す

● 選択された箇所から再生が始まります。

2 マーカーボタンまたはリターンボタンを押す

● 再生中画面に戻ります。

マーカー設定を削除するには

1 再生中にマーカーボタンを押す

2 カーソルボタン[◀/▶]で削除したいマーカーを選び、クリアボタンを押す

● すべてのマーカー設定を削除する場合は、カーソルボタン[◀/▶]で[AC]を選択し、決定ボタンを押します。

3 マーカーボタンまたはリターンボタンを押す

● 再生中画面に戻ります。

初期設定（セットアップ）－設定一覧（出荷設定）－

便利にお使いいただけるようご自分で変更できる設定と工場出荷時の設定を一覧表にしています。

- ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。詳しくは各ページをご参照ください。
- パレンタル設定以外の設定を初期化する方法は、71ページをご覧ください。

メニュー項目	設定項目（□は工場出荷設定）		設定内容
1. 言語設定 [➡ 57～60ページ]	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定します。
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ⋮	テレビに表示される字幕言語の種類を設定します。
	ディスクメニュー言語	日本語 英語 ⋮	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定します。
	画面表示言語 ☰	日本語 ENGLISH	設定画面の言語やテレビ画面に表示される「再生」などの言語を設定します。
2. 映像設定 [➡ 61～63ページ]	TV画面モード ☰	4:3レターボックス 4:3パンスキャン 16:9ワイド	接続するテレビのタイプに合わせて表示する画面を設定します。
	スチルモード	オート フィールド フレーム	一時停止中の画質を設定します。
	プログレッシブ ☰	オフ オン	プログレッシブのオン/オフを設定します。
3. 音声設定（デジタル出力） [➡ 64～65ページ]	DRC	オン オフ	DRC（音量範囲）のオン/オフを設定します。
	ダウンサンプリング	オン オフ	96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する/しないを設定します。
	ドルビーデジタル ☰	ビットストリーム DPCM	デジタル音声出力端子から出る音声信号の種類を設定します。
	DTS ☰	オフ ビットストリーム	
4. パレンタル設定（視聴制限） [➡ 66～67ページ]	パレンタルレベル	オール 8～1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定します。
	パスワード変更	4桁のパスワードを入力	パスワードを設定・変更します。
5. その他の設定 [➡ 68～70ページ]	アングルアイコン	オン オフ	🎥（アングルアイコン）の画面表示の有無を設定します。
	オートパワーオフ	オン オフ	停止状態で30分以上何も操作しないとき、電源「切」にするかを設定します。
	デュアル再生	オフ オン	MP3とJPEGの同時再生オン／オフを設定します。
	スライドショー	5秒 10秒 ミュージック	JPEGの表示時間を設定します。

■ 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
■ 停止状態でないと、初期設定機能は利用できません。
■ メニュー画面付きDVDを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
[➡ 15、35ページ]

■ ☰ とかかれたマークのある項目は、クイックセットアップ画面でも設定することができます。その他の項目は、カスタムセットアップ画面での設定が必要となります。

言語設定

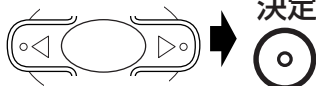
再生中の場合、を押します

1 初期設定ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

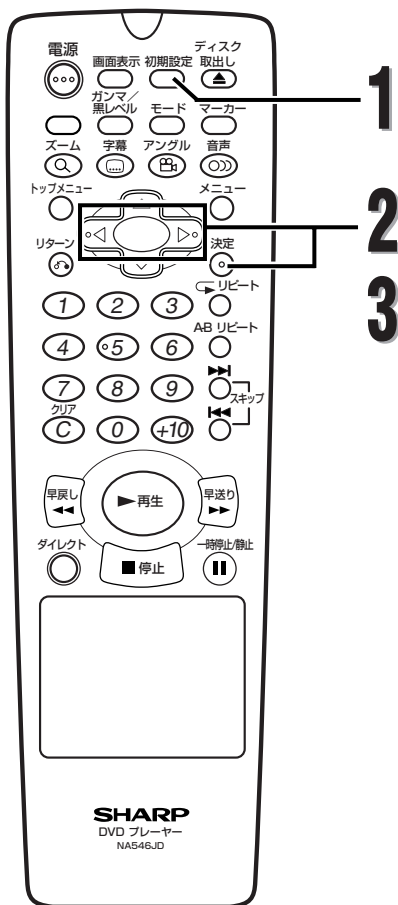
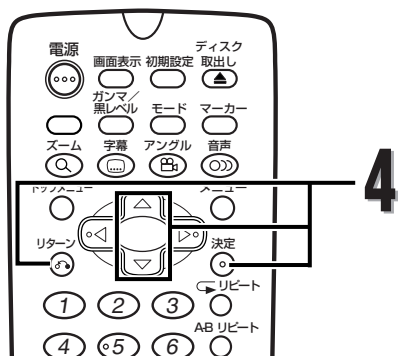
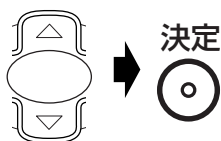
初期設定

2 カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、決定ボタンを押す

● カスタムセットアップ画面が表示されます。

3 決定ボタンを押す

● 言語設定画面が表示されます。

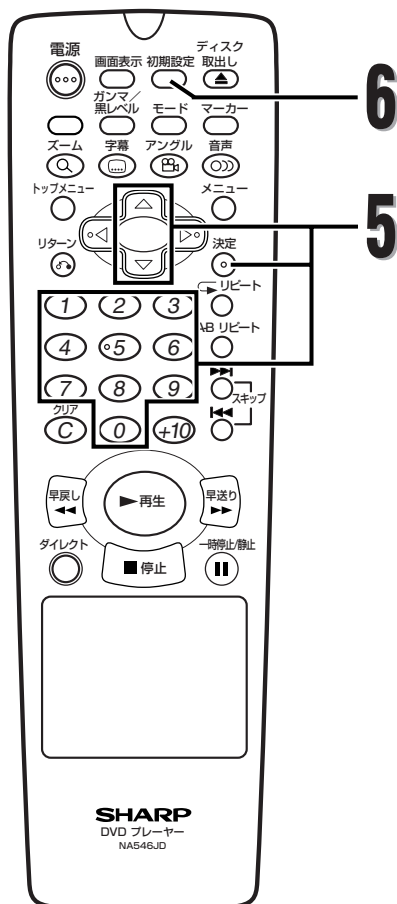
初期設定 言語設定

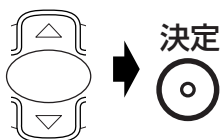
次ページへつづく

4 カーソルボタン[▲/▼]を押して選択したい項目を選び、決定ボタンを押す

● 1つ前の階層のメニューに戻る場合は、リターンボタンを押してください。

音声言語（出荷設定：オリジナル）
再生ディスクの言語（音声）を選択します。
－ オリジナル：ディスクのオリジナル言語（音声）となります。

字幕言語（出荷設定：オフ）
再生ディスクの言語（字幕）を選択します。
－ オフ：字幕なしとなります。

ディスクメニュー言語（出荷設定：日本語）
ディスクメニューの表示言語を選択します。

画面表示言語（出荷設定：日本語）
設定画面の言語やテレビ画面に表示される言語を選択します。

5 カーソルボタン[▲/▼]を押して選択したい項目を選び、決定ボタンを押す

● 音声、字幕、またはディスクメニュー設定画面上で[その他]を選択した場合、言語コード設定画面が表示されます。60ページのリストを参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

6 初期設定ボタンを押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

■ 一部のディスクでは音声と字幕の言語設定が利用できませんので、音声ボタンと字幕ボタンを使います。
[➡ 41、42ページ]

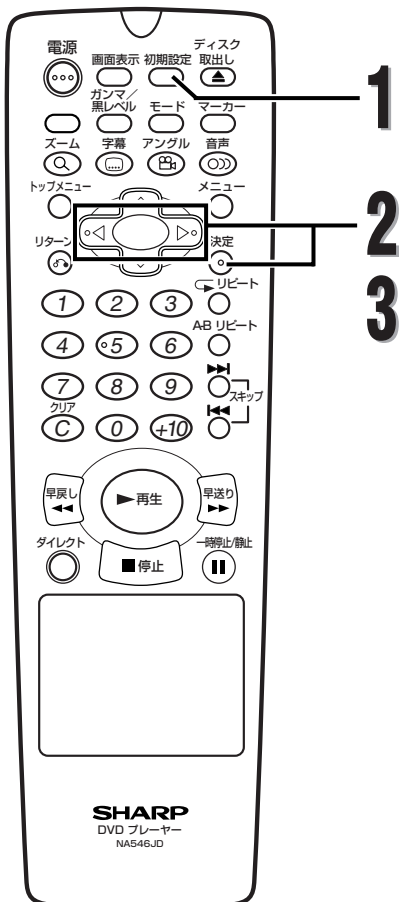
言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語	5047
ドイツ語	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語	5158
英語	5160
エスペラント語	5161
スペイン語	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語	5264
フリジア語	5271
アイルランド語	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語	5467
アルメニア語	5471

言語名	言語コード
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語	5565
イタリア語	5566
ヘブライ語	5569
日本語	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語	6058
ノルウェー語	6061
プロバンス語	6149
アファン語（オロモ語）	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語	6266

言語名	言語コード
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語	6461
ロシア語	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語	7254
ズールー語	7267

映像設定

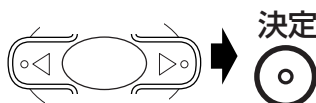
再生中の場合、を押します

1 初期設定ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

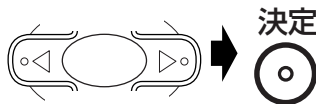
初期設定

2 カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、決定ボタンを押す

● カスタムセットアップ画面が表示されます。

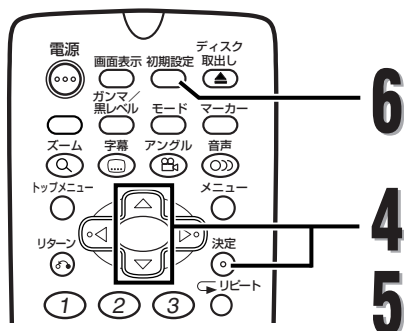
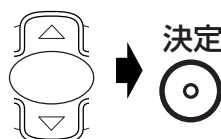
決定

3 カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、決定ボタンを押す

● 映像設定画面が表示されます。

決定

● [TV画面モード]、[スチルモード]を設定するときは、62ページをご覧ください。

● [プログレッシブ]を設定するときは、63ページをご覧ください。

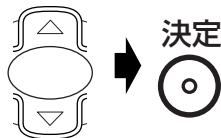
→ 次ページへつづく

■TV画面モード・スチルモードの場合

4 カーソルボタン[▲/▼]を押して項目を選択し、決定ボタンを押す

ＴＶ画面モード（出荷設定：4:3 レターボックス）
－4:3 レターボックス ：上下に黒いバーつきのワイド画面
－4:3 パンスキャン ：全高画像両サイドトリミング
－16:9 ワイド ：ワイド画面テレビに接続されている場合

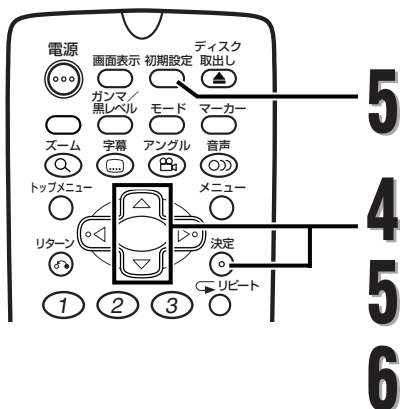
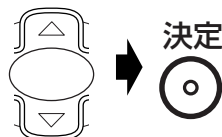
スチルモード（出荷設定：オート）
一時停止時の画質を設定します。
－オート ：表示する静止画の情報を元に、「フレーム」／「フィールド」のどちらかで表示されます。
－フィールド ：[オート]に設定しても画像のブレが発生するとき設定します。[フィールド]を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。
－フレーム ：動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいとき選びます。[フレーム]を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを同時に出力させるため、画像にブレを生じることがあります。

■ テレビの1枚の画面のことをフレームと呼び、1枚のフレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面から作られています。

[スチルモード]の[オート]を選択しているときに、静止画によっては、画像にブレを生じることがあります。

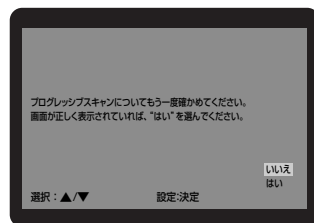
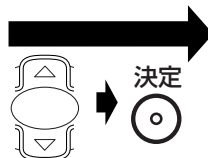
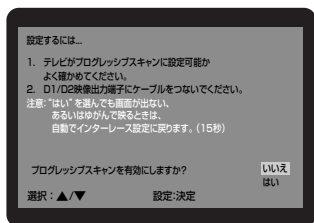
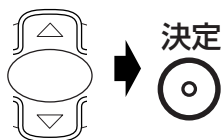
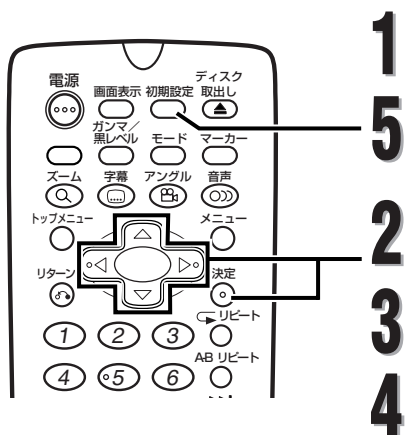
5 カーソルボタン[▲/▼]を押して選択したい項目を選び、決定ボタンを押す

6 初期設定ボタンを押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

■ プログレッシブの場合

4 カーソルボタン[▲/▼]を押して項目を選択し、決定ボタンを押す

プログレッシブ（出荷設定：オフ）
[プログレッシブ]を[オン]または[オフ]に設定します。
プログレッシブの説明は21ページをご覧ください。

5 初期設定ボタンを押す

初期設定

カーソルボタン[▲/▼]を押して
[はい]を選び、決定ボタンを押す

6 カーソルボタン[▲/▼]を押して[はい]を選択し、決定ボタンを押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

音声設定

再生中の場合、

 を押します

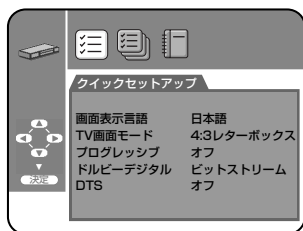
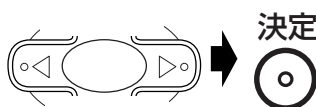
1 初期設定ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

初期設定

2 カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、決定ボタンを押す

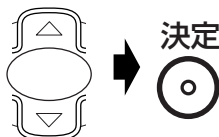
● カスタムセットアップ画面が表示されます。

決定

3 カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、決定ボタンを押す

● 音声設定画面が表示されます。

決定

4 カーソルボタン[▲/▼]を押して設定したい項目を選択し、決定ボタンを押す

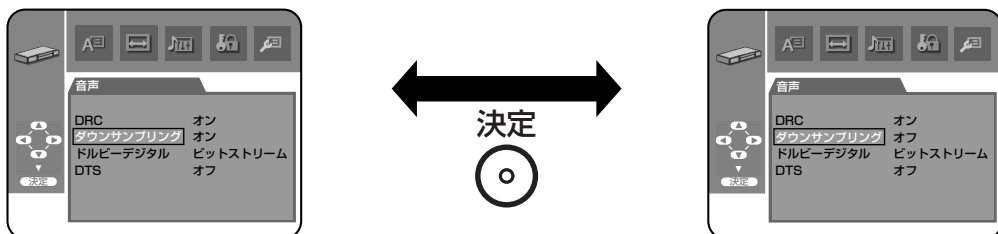
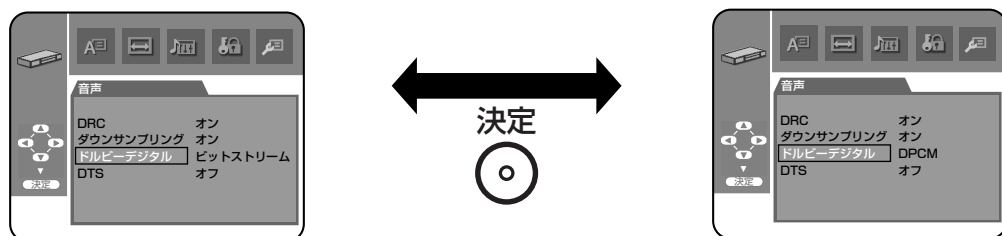
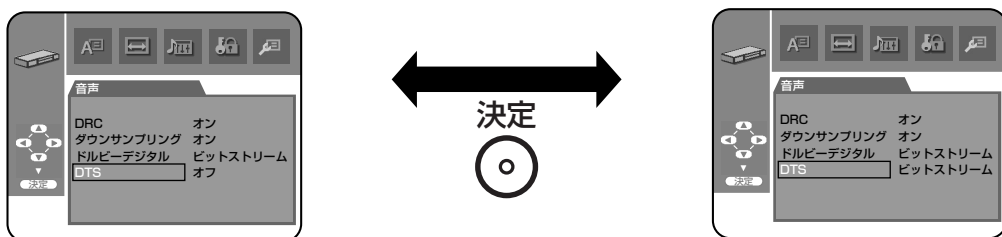
決定

設定項目について

DRC（出荷設定：オン）

– オン：ダイナミックレンジが利用できます。

● この機能は音量範囲をコントロールするものです。音量範囲を圧縮することにより夜間の出力を抑制するだけでなく低音部の音量を上げることもできます。

● ただし、この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。

ダウンサンプリング（出荷設定：オン）
96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する/しないを設定します。ただし、96kHzの高音質で楽しむためにはサンプリング周波数96kHzに対応したアンプに接続する必要があります。
- **オフ**：サンプリング周波数96kHzでデジタル出力されます。
ダウンサンプリングを[オフ]に設定した場合でも、コピーガード信号が入っている96kHzディスクを再生したとき、および、バーチャルサラウンド設定を[1（サラウンド標準）]または[2（サラウンド強）]に設定しているときは、48kHzにダウンサンプリングされた音声がデジタル出力されます。
- **オン**：サンプリング周波数48kHzに変換して出力されます。
96kHzに対応していないアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

ドルビーデジタル（出荷設定：ビットストリーム）
- **ビットストリーム**：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
- **DPCM**：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

DTS（出荷設定：オフ）
- **オフ**：DTSに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、DTS音声は出力されません。
- **ビットストリーム**：DTSデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。

5 初期設定ボタンを押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

初期設定

ちょっと一言！

■ メニュー画面付きDVDディスクを再生したときは、ディスクメニューでも設定が必要となることがあります。

パレンタル設定（視聴制限）

再生中の場合、を押します

1 初期設定ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

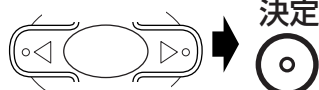
初期設定

2 カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、決定ボタンを押す

● カスタムセットアップ画面が表示されます。

決定

3 カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、決定ボタンを押す

決定

〈出荷設定時の画面〉

4 数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する

● 最初に設定をするとき、任意の4桁の数字を入力し、決定ボタンを押します。この数字は次回からパスワードとして使用されますので、忘れないようにご注意ください。

● パスワードを入力して、パレンタルレベルとパスワード設定を変更することができます。

● [4][7][3][7]をパスワードにすることはできません。

5 カーソルボタン[▲/▼]を押して項目を選択し、決定ボタンを押す

[パスワード変更]を選択した場合

● 数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、決定ボタンを押します。

[パレンタルレベル]を選択した場合

● カーソルボタン[▲/▼]を押して[オール]または[8]から[1]までの項目を選び、決定ボタンを押します。

(オール)
パレンタルロックをオフ状態にします。

(レベル8)
どのグレードのDVDソフトウェア（成人、一般、子供）でも再生できます。

(レベル7から2)
一般用と子供向けのDVDソフトウエアのみ再生できます。

(レベル1)
子供用のDVDソフトウエアのみ再生できます。

6 初期設定ボタンを押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

初期設定

ちょっと一言！

■ DVDによっては、パレンタルロックが作動するか見分けるのが難しい場合があります。設定した方法で、パレンタルロック機能が作動するか確認してください。
■ パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。

パスワードを忘れたとき

手順4で以下の操作を行ってください。
※電源が「入」の状態で、リモコンの4、7、3、7の順にボタンを押します。すでに入力されていたパスワードがリセットされます。

その他の設定

再生中の場合、 を押します

1 初期設定ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

2 カーソルボタン[◀/▶]を押して " " を選択し、決定ボタンを押す

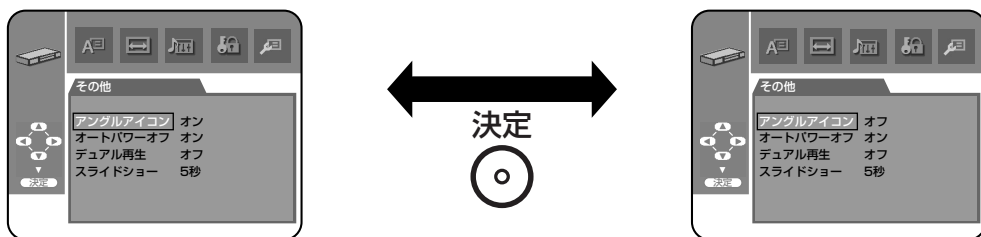
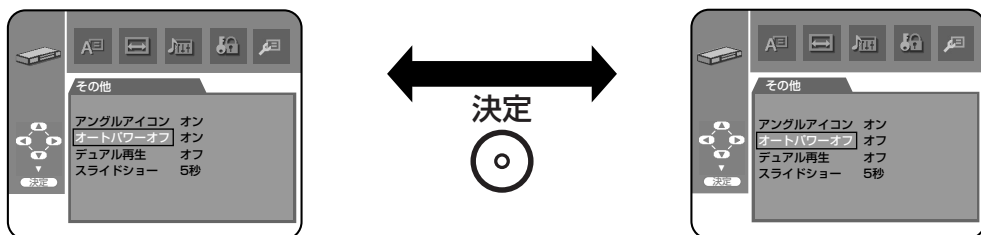
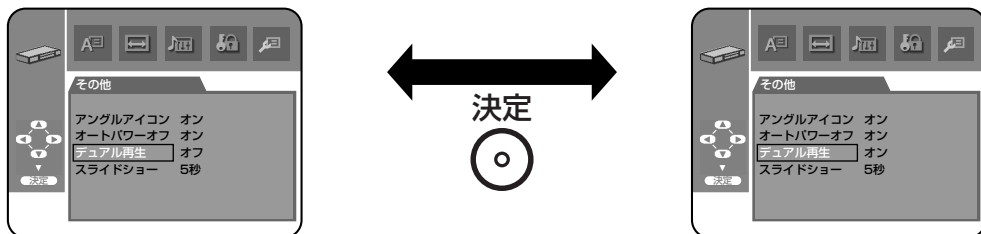
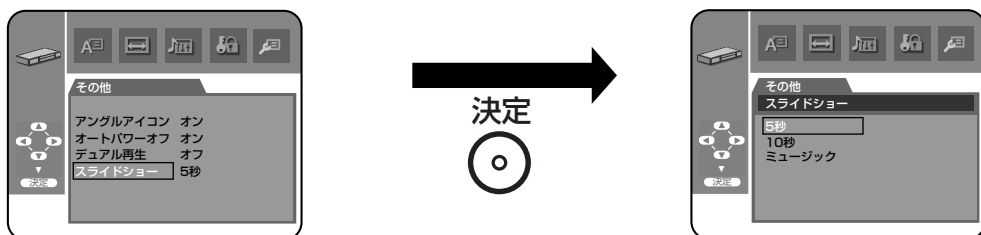
● カスタムセットアップ画面が表示されます。

3 カーソルボタン[◀/▶]を押して " " を選択し、決定ボタンを押す

● その他の設定画面が表示されます。

4 カーソルボタン[▲/▼]を押して設定したい項目を選択し、決定ボタンを押す

設定項目について

アングルアイコン（出荷設定：オン）
画面上に[（アングルアイコン）]を表示／非表示します。

オートパワーオフ（出荷設定：オン）
静止または停止状態で30分以上何も操作しないとき、電源が自動的に切れるようにするには、[オン]を選びます。

デュアル再生（出荷設定：オフ）
－ オン：MP3とJPEGを同時に楽しみたい場合に選びます。
－ オフ：MP3とJPEGを別々に楽しみたい場合に選びます。

スライドショー（出荷設定：5秒）
JPEG再生時のスライドショー時間を設定します。
－ 5秒　：約5秒ごとに画像が切り換わります。
－ 10秒　：約10秒ごとに画像が切り換わります。
－ミュージック　：MP3とJPEGを同時に再生しているときは、MP3の切り換わりにあわせて画像が切り換わります。JPEGのみを再生しているときは、5秒ごとに画像が切り換わります。

ちょっと一言！
■ デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が3MB以下、画像の大きさが縦×横　4,000×4,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を超えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。
■ [初期設定]の[スライドショー]表示時間設定が、5秒または10秒であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

次ページへつづく

初期設定（セットアップ）

5

カーソルボタン[▲/▼]を押して選択したい項目を選び、決定ボタンを押す
（[スライドショー]を選択の場合）

6

初期設定ボタンを押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

初期設定

パレンタル設定以外の設定を初期化する

再生中の場合、を押します

1

初期設定ボタンを押す

● クイックセットアップ画面が表示されます。

初期設定

2

カーソルボタン[◀/▶]を押して“ ”を選択し、決定ボタンを押す

● 初期化画面が表示されます。

決定

3

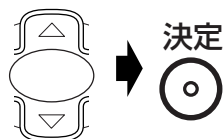
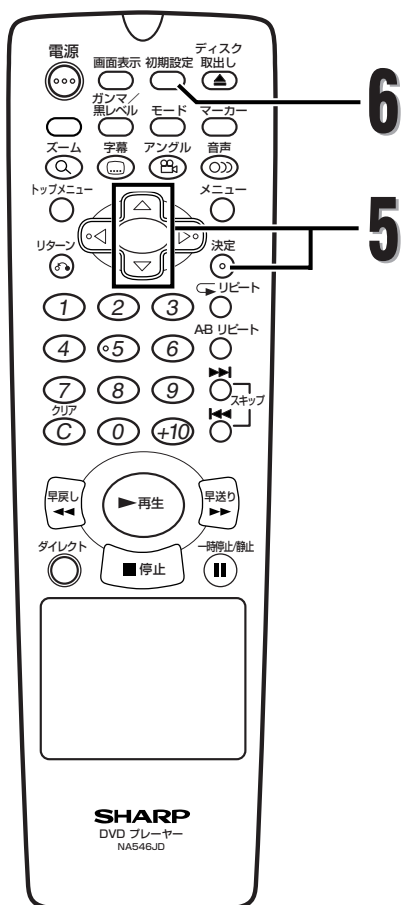
カーソルボタン[▲/▼]を押して[はい]を選択し、決定ボタンを押す

● 初期化が実行されます。

決定

4

決定ボタンを押す

● クイックセットアップ画面に戻ります。

決定

故障かな？と思ったときは

ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。点検されても直らないときは、お買上げの販売店にお問い合わせください。

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
電源が入らない	※電源プラグがはずれている。 ※停電で電源が切れている。	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。 ● 安全保護装置が働いていることがあります。このときは、1度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください。	— —
リモコンで操作できない	※リモコンが本機の受光部に向いていない。 ※リモコンと本機が離れすぎている。 ※リモコンと本機の受光部の間に障害物がある。 ※リモコンの電池が消耗している。 ※リモコンに水など水分を含む物をこぼした。 ※本体が故障している可能性があります。	● リモコンを本機の受光部に向ける。 ● 7m以内の所で操作する。 ● 障害物を取り除く。 ● 電池を交換する。 ● リモコンの交換が必要です。お近くの販売店にご相談ください。 ● ラジオを利用し、次のようなチェックを行なってみてください。 AM放送で放送局のない周波数（雑音の出る状態）に合わせ（音量は大きめ）、ラジオのそばで任意のボタンを押します。雑音の中にブ、ブ、ブのような音が聞こえてきましたらリモコンは正常と考えられますので、本体が故障している可能性があります。 お近くの販売店や弊社サービスセンターにご相談ください。	18 18 — 18 — —
画像が出ない	※映像接続コードがはずれている。 ※違う種類のディスクが入っている。 ※プログレッシブに対応していないテレビと接続した状態で、プログレッシブの設定が[オン]になっている。 ・プログレッシブの設定が[オン]のときは、本体のプログレッシブランプが点灯します。	● 映像接続コードをしっかり接続する。 ● DVD(リージョン番号2、ALL)、ビデオCD以外の物が入っていないか確認する。 ● プログレッシブの設定を[オフ]する。 ・ディスクを取出してから電源が入った状態で本体の再生ボタンを5秒以上押し続けてください。 ・プログレッシブ設定が「オフ」にリセットされます。	20 14 21
再生が始まらない	※結露が発生している。 ※ディスクが裏返しに入っている。 ※ディスクが汚れている。 ※パレンタル設定（視聴制限）が有効になっている。 ※記録時間が短いディスクが入っている。	● 電源「入」のまま、しばらく放置する。 ● 縦置の場合はディスクのレーベル面を左に、横置きの場合はディスクのレーベル面を上にして正しく入れ直す。 ● ディスクを清掃する。 ● パレンタル設定を解除するか、規制レベルを変更する。 ● 記録時間が短いディスクやタイトルは再生できない場合があります。	11 24 11 66〜67 —
音声が出ない	※音声接続コードがはずれている。 ※音声出力の選択が正しくない。 ※音声接続をしている機器の電源が入っていない。 ※音声接続をしている機器の入力切換が正しくない。 ※DTS音声を再生している。	● 音声接続コードをしっかり接続する。 ● 音声出力の選択を正しく行なう。 ● 音声接続をしている機器の電源を入れる。 ● 音声接続をしている機器の入力切換を正しく行なう。 ● アナログ出力端子からDTS音声は出力されません。	20〜23 64〜65 — — —
映像が乱れる	※コピーガード機能が働いている。 ※早送り、早戻しをした直後である。 ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している。	● 本機とテレビを直接接続する。 ● 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。 ● 本機から離して使用する。	20 — 12

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
ディスクが出せない	※8cm盤や名刺型、その他円形以外のディスクが入っている。	● 1度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで、取出しボタンを押して電源を入れてください。 ● 電源が入っているときは、本体前面の取出しボタンを5秒以上押し続けてください。	— —
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDディスクに初期設定で選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない。	● DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する。	41～42
アングルを変えて見ることができない	※DVDディスクに複数のアングルが記録されていない。	● DVDディスクに複数のアングルが記録されているか確認する。	43
音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDディスクに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない。	● DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する。	—
テレビ画面に“ ⃠ ”が表示され、操作できない	※本機またはディスクがその操作を禁止しています。	● 故障ではありません。	25
再生中に画像が動かなくなる	※ディスクに記録されたデータの中に、問題がある可能性がある。 ※ディスクが汚れている。 ※ディスクにキズがある。 ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった。	● 停止ボタンを押してから、再生ボタンを押してみる。 ● ディスクを清掃する。 ● キズのないディスクと取り換えて再生する。 ● 映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません。	— 11 — —
勝手に電源が切れる	※オートパワーオフが作動しています。停止状態で30分経過すると、自動的に電源「切」状態になります。	● 再度、電源を入れ直す。 ● オートパワーオフをオフにする。	— 68～70
[ディスクエラー --ディスクを取り出してください。--再生可能なディスクを挿入してください。]と画面表示される	※再生できないディスクが入っている。 ※ディスクが汚れている。 ※ディスクが裏返しに入っている。 ※ディスクにキズがある。	● 再生できるディスクを入れる。 ● ディスクを清掃する。 ● 縦置の場合はディスクのレーベル面を左に、横置きの場合はディスクのレーベル面を上にして正しく入れ直す。 ● キズのないディスクと取り換えて再生する。	14 11 24 —
[リージョンエラー --ディスクを取り出してください。--この地域での再生は禁止されています。]と画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている。	● リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる。	14
[パレンタルエラー 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。]と画面表示される	※パレンタル設定が有効になっている。	● パレンタル設定を解除するか、規制レベルを変更する。	66～67

ちょっと一言！
■ 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
■ ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。
■ プログラム再生中は、ランダム再生と希望するトラックからの再生はできません。
■ ディスクによっては使えない機能もあります。

保証書 (別添)

- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ販売店から受け取ってください。
- 保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  お買い上げの日から1年間です。
  保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しております。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、または最寄りのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。[➥ 76ページ]

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったときは」を調べてください。[➥ 72ページ] それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

ご連絡していただきたい内容

品名	:DVDプレーヤー
形名	:DV-SF1
お買い上げ日	:(年月日)
故障の状況	:(できるだけ具体的に)
ご住所	:(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前	:
電話番号	:
ご訪問希望日	:

ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

便利メモ お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販　売　店　名
年　月　日	電話（　　）　—

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用の本機の点検を！
こんな症状はありませんか？
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

仕　　様

品　名		DVDプレーヤー
形　名		DV-SF1
再生可能なディスク*[1]		DVDビデオディスク、DVD-RW*[2]、DVD-R*[2]、DVD+RW*[2]、DVD+R*[2]、音楽用CD、ビデオCD、CD-RW*[2]、CD-R*[2]、フジカラーCD
出力信号方式		NTSCカラー方式
周波数特性		DVD（LPCM音声） 20Hz～22kHz（48kHzサンプリング周波数） 20Hz～44kHz（96kHzサンプリング周波数） 音楽用CD・ビデオCD 20Hz～20kHz (JEITA)
信号対雑音比（S／N比）		CD・ビデオCD：120dB (JEITA)
ダイナミックレンジ		DVD(LPCM音声): 102dB、CD ·ビデオCD：99dB (JEITA)
端　子	映像出力	ピンジャックX1　1V(p-p) (75Ω)
	コンポーネント映像出力	D1/D2出力端子
	光デジタル音声出力	光コネクタX1
	アナログ音声出力	ピンジャックX2（左チャンネルX1、右チャンネルX1） 2V(rms) (100kΩ)
電　源		AC100V/50Hz,60Hz
許容温度範囲		5℃～40℃
許容湿度範囲		80%以下
寸　法		62mm（幅）x 248.5mm（高さ）x 238mm（奥行）
質　量		約1.3kg

消費電力	約10W
待機時消費電力	約0.7W

*[1] 本機は12cm盤ディスク専用機です。8cm盤ディスクは再生できません。
*[2] 詳しくは、「ディスクについて」をご覧ください。[➡ 14ページ]
仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ……… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は …………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ………………	FAX	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
但し、〔沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄·奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（05.07）

シャープ商品の修理・お取り扱い・お手入れのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

※なお、転居されたり贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、以下のサービスをご利用ください。

不具合品の訪問引き取り・修理・お届けサービス

「修理品引き取りサービス」のご案内

修理品引き取りサービスとは、お持込みいただける商品について電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

■運送費

保証期間内	無料
保証期間外	1,000円+梱包資材費+代引き手数料

※梱包料を含む往復料金（税別）

■修理料金

保証期間内	無料（保証書記載の「保証規定」に準じます）
保証期間外	有料（修理内容により異なります）

※保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書をご確認ください。

お申し込み

「修理相談センター」にお電話でお申し込みください。

ナビダイヤル　【0570-02-4649】

受付時間月曜～土曜：午前 9時～午後6時
日曜／祝日：午前10時～午後5時

年末・年始・当社指定の休日および天災などやむをえない状況の際は、臨時に休ませていただくことがありますので、予めご了承ください。
ナビダイヤルは全国一律料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHSからはナビダイヤルを一部ご利用いただけません。
下記の一般電話におかけください。

ファクシミリを送信される方は、下記FAX受信専用番号にお願いします。

	東日本エリア	西日本エリア
一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
専用FAX	043-299-3865	06-6792-3221

電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

お引き取り

当社指定の宅配業者（ヤマト運輸）がお引き取りに伺います。

お引き取り時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

AM／12時～14時／14時～16時
16時～18時／18時～21時

お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
18時～21時の時間帯は土、日、祝日は除きます。
交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。
※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。

ご連絡時にサービス料金（修理料金+利用料）と発送日をご連絡いたします。
ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
サービス料金（修理料金+利用料）をヤマト運輸に現金でお支払いください。
※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問日が変動します。

用語の解説

オートパワーオフ機能 [➡ 68～70ページ]
● [初期設定]でオートパワーオフ機能を[オン]に設定した場合、一時停止、停止状態で30分以上何も操作しないと、自動的に電源が切れます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➡ 41、57～59、64～65ページ]
● 複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

カメラアングルの選択（DVDビデオ）**[➡ 43ページ]**
● 異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

画面表示 [➡ 52～55ページ]
● 各時点で行っている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、（プログラム再生など）その時点で有効になっている機能を確認することができます。

希望する言語で字幕を表示（DVDビデオ）**[➡ 42、57～59ページ]**
● 希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

黒レベル [➡ 54ページ]
● 暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくできます。

ズーム（DVD、JPEG、ビデオCD）**[➡ 44ページ]**
● ×2または×4に拡大した画面を表示させることができます。

スクリーンセーバー
● スクリーンセーバーは、同じ映像を長時間テレビ画面に映しているときに起きやすい、テレビ画面の焼き付きを防ぐための機能です。
何も操作しない状態が5分以上続くと、スクリーンセーバー機能が働きます。

ダイレクト再生 [➡ 38～40ページ]
● チャプターサーチ（DVD）：
ユーザーが指定したチャプターを頭出しすることができます。
● タイトルサーチ（DVD）：
ユーザーが指定したタイトルを頭出しすることができます。
● タイムサーチ（DVD、音楽用CD、ビデオCD＊1）：
ユーザーが指定した時間を頭出しすることができます。
● トラックサーチ（音楽用CD、MP3、JPEG、ビデオCD＊1）：
ユーザーが指定したトラックを頭出しすることができます。

つづき再生 [➡ 27ページ]
● 再生をストップした位置からつづけて再生を再開することができます。

ディスクの自動判別
● DVD、ビデオCD、音楽用CD、MP3/JPEGディスク（CD-RW/-R）を自動的に判別して再生します。

デジタルガンマ [➡ 54ページ]
● 暗くて見づらい部分を明るく見やすくすることができます。

ドルビーデジタル [➡ 64～65ページ]
● ドルビー研究所が開発した音声圧縮方式で5.1チャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。

バーチャルサラウンド [➡ 54ページ]
● バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。

早送り、早戻し、静止、コマ送り再生、スロー再生 [➡ 26、28～30ページ]
● 早送り再生、早戻し再生、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生などの再生ができます。

早見・早聞き／遅見・遅聞き再生（DVD）**[➡ 29ページ]**
● 早送り／遅送り再生時でも聞き取りやすい音声を出力する機能です。

パレンタル設定 [➡ 66～67ページ]
● パレンタルレベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を制限することができます。

ビットレート表示 [➡ 52ページ]
● ディスクに記録された画像や音声の情報量を示します。（DVDの表示は目安です。）

プログラム再生（音楽用CD、MP3、JPEG）**[➡ 33、50ページ]**
● 本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

プログレッシブ [➡ 21、61、63ページ]
● 接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレース方式より、ちらつきの少ない高密度の画像を楽しむことができます。

マーカー（DVD、音楽用CD、ビデオCD＊1）**[➡ 55ページ]**
● ユーザーが指定した位置を呼び出すことができます。

ランダム再生（音楽用CD、MP3、JPEG）**[➡ 34、51ページ]**
● 本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

リピート [➡ 31～32ページ]
● チャプター（DVD）：
再生中のディスクのチャプターを繰り返して再生することができます。
● タイトル（DVD）：
再生中のディスクのタイトルを繰り返して再生することができます。
● トラック（音楽用CD、MP3、JPEG、ビデオCD＊1）：
再生中のディスクのトラックを繰り返して再生することができます。
● オール（音楽用CD、MP3、JPEG、ビデオCD＊1、DVD-RW（VRフォーマット））：
再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
● A-B（DVD、音楽用CD、ビデオCD）：
ユーザーが指定した開始点Aから終了点Bまでの部分を繰り返して再生することができます。

DRC [➡ 64ページ]
● ドルビーデジタルで録音された音声に対し、音量範囲をコントロールすることができます。

DTS（デジタルシアターシステム）[➡ 64～65ページ]
● デジタルシアターシステムズ社が開発した、原音に限りなく忠実な5.1チャンネルサラウンドシステムを楽しむことができます。

DVDメニュー言語切り換え [➡ 57～59ページ]
● DVDに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

DVD-RW（VRフォーマット）ディスク再生 [➡ 37ページ]
● VRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。

MP3/JPEG再生 [➡ 45～46、53ページ]
● CD-RWやCD-Rに記録されたMP3/JPEGファイルを再生することができます。また、MP3/JPEGファイルを同時に再生することができます（デュアル再生）。

（＊1） PBC対応のビデオCD再生時は、PBC機能が優先され、本機側の設定（希望するところからの再生やリピート再生）は、機能しません。その場合PBC機能を解除し、本機側の設定を機能させてください。[➡ 25ページ]

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

英数字

● 製品についてのお問い合わせは・・			
お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX **043 - 299 - 8280**
	西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX **06 - 6792 - 5993**
《受付時間》　月曜～土曜 ： 午前9時～午後6時　日曜・祝日 ： 午前10時～午後5時　（年末年始を除く）			

● 修理のご相談は・・	76ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番

E61U0JD　★★★★

PRINTED IN CHINA

1VMN21128/05P07-CH-NF